

新日軽

**彩ライン「ノンレール引戸」
組立施工マニュアル**

目次

取説番号 ME-1255 改-1

● 商品形態	P 2
● 部品拾い出し表	P 3
● 吊り元門袖ユニットレンガタイル	P 4
● 梱包内容	P 5
● 基本寸法及び基本寸法施工図	P 10
● 組立・取付け	P 11
1 柱ユニット（外部側）のAP下地材を取り外して下さい	P 11
2 柱ユニット（外部側）・連結壁ユニット・端部壁ユニットを組立てて下さい	P 12
3 柱ユニット（内部側）を組立てて下さい	P 13
4 戸当り連結アタッチメントを取付けて下さい	P 14
5 戸当り・戸当り柱を取り付けて下さい	P 15
6 戸当りキャップを取り付けて下さい	P 16
7-1 レンガタイル下端2段の取付けをして下さい（B型 左引戸タイプ）	P 17
7-2 レンガタイル下端2段の取付けをして下さい（B型 右引戸タイプ）	P 19
7-3 レンガタイル下端2段の取付けをして下さい（A型）	P 21
8 基礎の施工を行って下さい	P 23
9-1 門袖・彩ライン「ノンレール引戸」を設置して下さい	P 25
9-2 コンクリートで埋め込んで下さい	P 26
10 上下戸車を取付けて下さい	P 27
11 扉本体・柱ユニット（内部側）上部を取付けて下さい	P 28
12 上戸車・柱ユニット（内部側）上部を取付けて下さい	P 29
13 扉本体の調整をして下さい	P 30
14 戸当りの調整をして下さい	P 33
15-1 彩ライン「ノンレール引戸」にレンガタイルを取付けて下さい（B型 左引戸タイプ）	P 34
15-2 彩ライン「ノンレール引戸」にレンガタイルを取付けて下さい（B型 右引戸タイプ）	P 37
15-3 彩ライン「ノンレール引戸」にレンガタイルを取付けて下さい（A型）	P 40
16-1 石目調笠木柱ユニット用（内部側）を取付けて下さい（B型）	P 42
16-2 石目調笠木柱ユニット用（内部側）を取付けて下さい（A型）	P 43
17-1 石目調笠木 A型用を取付けて下さい	P 44
17-2 石目調笠木 B型用を取付けて下さい	P 44
18-1 彩ブリック笠木を取付けて下さい（B型）	P 45
18-2 彩ブリック笠木を取付けて下さい（A型）	P 46

■ 新日軽 彩ライン「ノンレール引戸」組立施工マニュアル

- 新日軽の製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。
- 正しい施工をしていただくため当説明書をお読みください。

■ 注意事項 施工にあたっては次のような点に注意してください。

- ①モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- ②モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良の腐食の原因になります。
- ③モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用をさけていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- ④施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- ⑤アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗装等で絶縁処理をしてください。
- ⑥腐食の恐れのある接着剤や化学製品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- ⑦タイル表面への酸洗いや溶剤拭きは行わないでください。
タイル表面の白い粉の付着は水拭きで簡単に取れます。
- ⑧下地のタイル引っ掛けフィンが尖っていて手等を切る恐れがあります施工の際十分注意して作業してください。

■ 安全にお使いいただくために必ずお守りください。

お願いしたいことは……この取扱い説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。

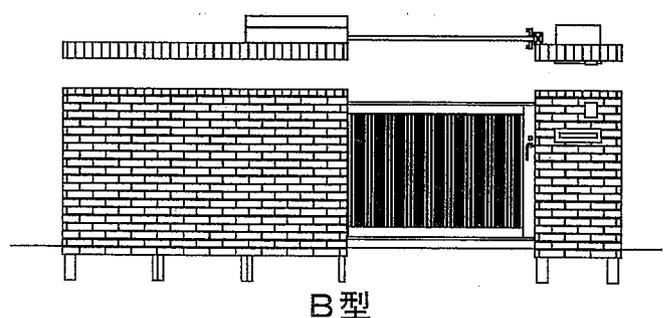
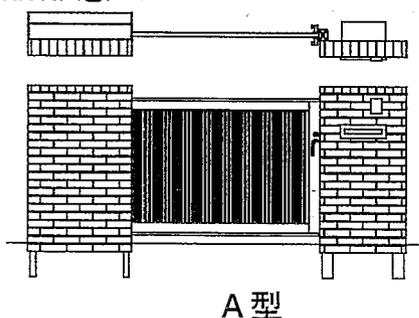
⚠ 注 意 事 項

- 本体を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- 郵便ポストの上には乗らないでください。変形したり、使用上に支障をきたす場合があります。
- ポストの投函口にむやみに手や棒を差し込まないでください。
- 投函物を取り出す際は、手や指に注意してください。

- 門扉を通常使用されない場合は必ず施錠してください。
- 開閉時には手足、衣服などを挟まないよう、注意してください。
- 扉に物を載せないでください。
- 扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。

■ 工事が終わりましたら別冊の『お施主様用手引き』に必要事項を記入してお施主様へお渡し下さい。

● 商品形態（本図は左引戸タイプです）



下記の部材拾い出し表にてご確認願います。

●部材拾い出し表

製品名称		Aタイプ		Bタイプ				
		R	L	R	L			
扉本体	A型							
	H型	1	1	1	1			
	J型							
	戸当り柱セット		1	1	1	1		
	柱ユニット	外部側	1	1	1	1		
		内部側	1	1	1	1		
	連結壁ユニット				1	1		
	端部壁ユニット				1	1		
	吊元門袖ユニット	笠木セット	石目調仕様	A型用	1	1		
				B型用			1	1
彩ブリック仕様		A型用	1	1				
		B型端部用			2	2		
		B型中間部用			1	1		
柱ユニット用笠木(内部側)		1	1	1	1			
組立部品箱(A型用)		1	1					
組立部品箱(B型用)				1	1			
上下ローラーセット		1	1	1	1			
錠セット		1	1	1	1			

●笠木は「石目調」・「彩ブリック」のいずれかを使用してください。

□は仕様によって拾い出す製品を表しております。

下記の部材拾い出し表にてご確認願います。

●吊り元門袖ユニット レンガタイル

製品名称			A 型		B 型	
			RL	R	L	L
門 袖 レンガタイル	A右曲げ	10枚入り		1	1	
	A左曲げ	10枚入り		1	1	
	B 右曲げ	10枚入り		1	1	
	B左曲げ	10枚入り		1	1	
	二丁平	20枚入り	5	19	19	
引戸ユニット レンガタイル	B型用二丁平セット			1	1	
	B型R勝手用セット			1		
	B型L勝手用セット				1	
	柱ユニット部用Aセット		2	1	1	
	柱ユニット部用Bセット		1	1	1	
	A型用セット		1			
梱包数合計			9	27	27	

●梱包内容（開梱時に数量を確認して下さい。）

扉本体

名 称	略 図	数量
扉本体 A型		1
扉本体 H型		1
扉本体 J型		1

上記タイプをお好みによってお選び下さい。

錠セット

名 称	略 図	数量
ハンドル錠		1

柱ユニット

名 称	略 図	数量
柱ユニット(内部側)		1
柱ユニット(外部側)		1

上下ローラーセット

名 称	略 図	数量
上戸車		1
下戸車		1

戸当り柱セット

名 称	略 図	数量
戸当り柱		1
戸当り		1
戸当り連結 アタッチメント		1
戸当り取付ビス 4×12トラス タッピング3種		3
戸当り柱+連結 アタッチメント取付ビス 4×13セルフ トリリングビス		5
袖柱+連結アタッチメ ント取付ボルト M8×20六角ボルト・ナ ット・ワッシャー		4
戸当り柱キャップ		1
戸当りキャップ取付ビス 4×30皿タッピング3種		2

連結壁ユニット

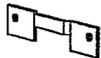
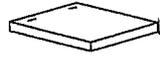
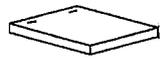
名 称	略 図	数量
連結壁セット		1

端部壁ユニット

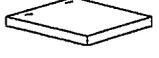
名 称	略 図	数量
端部壁セット		1

●梱包内容（開梱時に数量を確認して下さい。）

A型用部品箱

名 称	略 図	数量
柱ジョイント取付ビス 6×14 トラスタッピング3種		1 2
柱ジョイント取付ビス 4×12 トラスタッピング3種		4
上部間隔寸法出部品		2
上部間隔寸法出部品 取付ビス 4×12 トラスタッピング3種		4
下部間隔寸法出部品		4
下部間隔寸法出部品 取付ビス 4×12 トラスタッピング3種		8
端部キャップ取付ビス 4×16 ナベタッピング2種 ガイド付		1 0
端部キャップ		2
お施主様用 取扱い説明書		1
組立施工マニュアル		1

B型用部品箱

名 称	略 図	数量
柱ジョイント取付ビス 6×14 トラスタッピング3種		1 2
柱ジョイント取付ビス 4×12 トラスタッピング3種		4
上部間隔寸法出部品		2
上部間隔寸法出部品 取付ビス 4×12 トラスタッピング3種		4
下部間隔寸法出部品		4
下部間隔寸法出部品 取付ビス 4×12 トラスタッピング3種		8
端部キャップ取付ビス 4×16 ナベタッピング2種 ガイド付		1 0
端部キャップ		2
壁連結ビス 4×16 トラスタッピング3種		2 0
アンカー棒		2
お施主様用 取扱い説明書		1
組立施工マニュアル		1

●梱包内容（開梱時に数量を確認して下さい。）

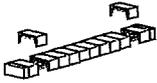
石目調笠木 A型用

名 称	略 図	数量
石目調笠木 A型用		1

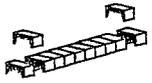
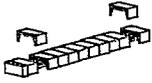
石目調笠木 B型用

名 称	略 図	数量
石目調笠木 B型用		1

彩ブリック 笠木セット A型用

名 称	略 図	数量
彩ブリック笠木セット A型用		1

彩ブリック 笠木セット B型用

名 称	略 図	数量
彩ブリック笠木セット B型中間部用		2
彩ブリック笠木セット B型端部用		1

柱ユニット用笠木（内部側）

名 称	略 図	数量
笠木A		1
笠木B		1

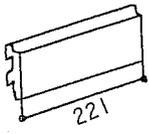
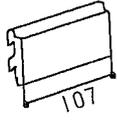
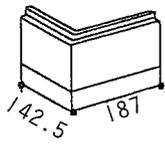
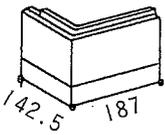
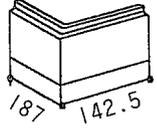
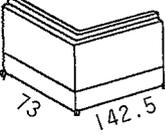
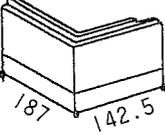
別売部品

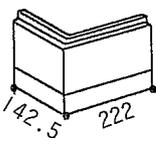
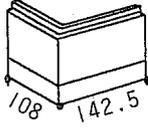
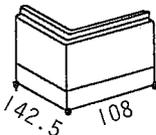
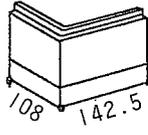
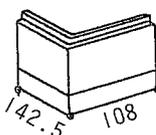
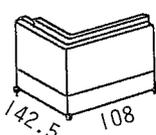
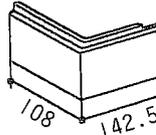
製品番号	名 称	略 図	数量
TMCV8PFS	門柱アタッチメント		2
	インナーロック用 柱補強剤取付ビス 4×12 トラスタッピング3種		8

末尾記号の○は下記の通り

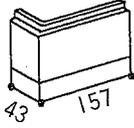
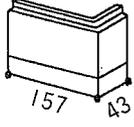
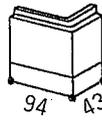
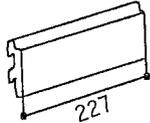
ブラウン2=B グレイッシュアイボリー=G レッド2=R

レンガタイル

名称	略図	数量
B型用 二丁平セット	スタンプ記号1 	10
	スタンプ記号7 	10
B型 R勝手用セット	スタンプ記号R10 	9
	スタンプ記号L13 	10
	スタンプ記号R19 	1
B型 L勝手用セット	スタンプ記号L10 	9
	スタンプ記号R13 	10
	スタンプ記号L19 	1

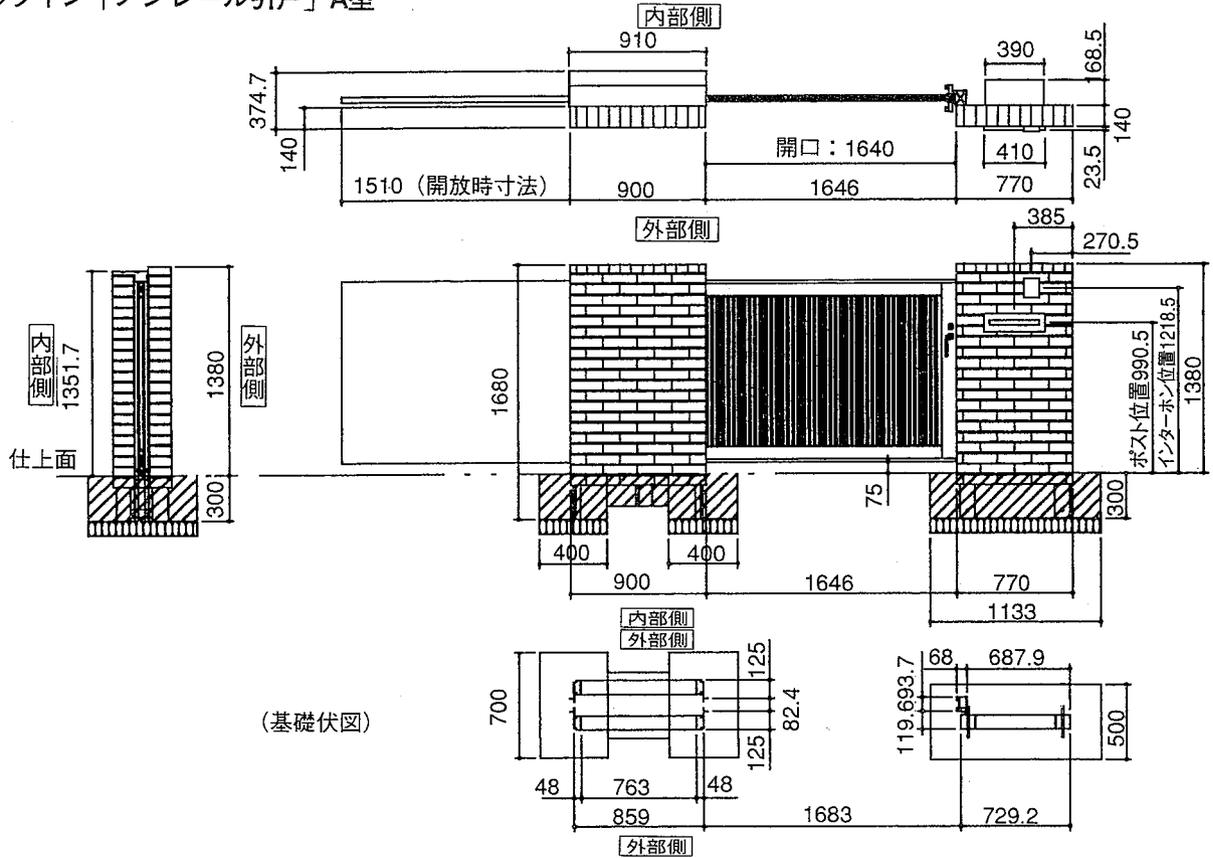
名称	略図	数量
柱ユニット部用 Aセット	スタンプ記号R11 	10
	スタンプ記号L11 	10
柱ユニット部用 Bセット	スタンプ記号R12 	10
	スタンプ記号L12 	10
A型用セット	スタンプ記号R12 	9
	スタンプ記号L12 	9
	スタンプ記号R20 	1
	スタンプ記号L20 	1

レンガタイル

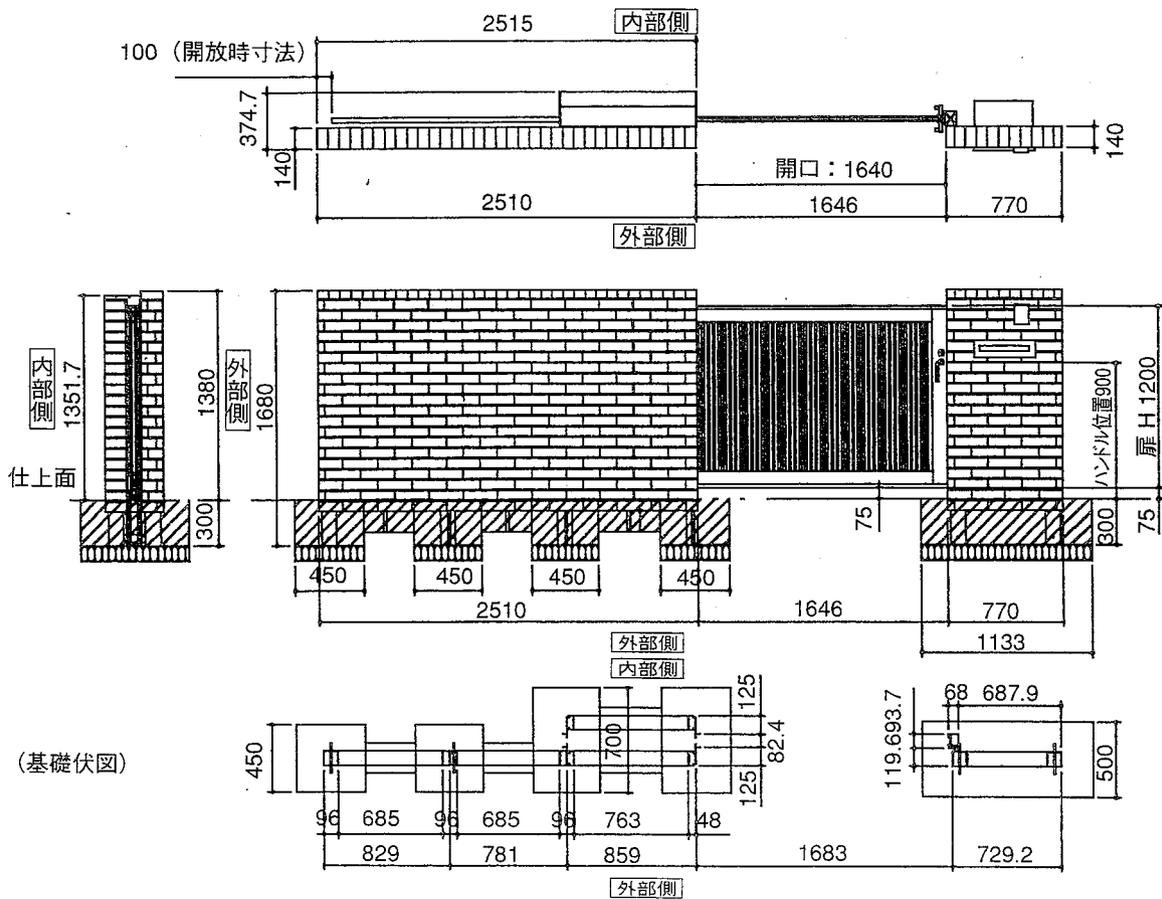
名 称	略 図	数 量
A右曲げ 10枚入り	スタンプ記号 R 1 	1 0
A左曲げ 10枚入り	スタンプ記号 L 1 	1 0
B右曲げ 10枚入り	スタンプ記号 R 2 	1 0
B左曲げ 10枚入り	スタンプ記号 L 2 	1 0
二丁平 20枚入り	スタンプ記号 無 	2 0

●基本寸法及び基本寸法施工図

■彩ライン「ノンレール引戸」A型



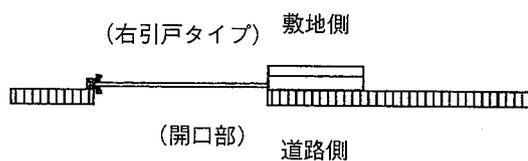
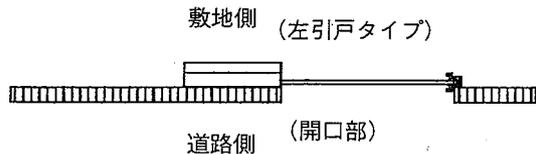
■彩ライン「ノンレール引戸」B型



●組立・取付け

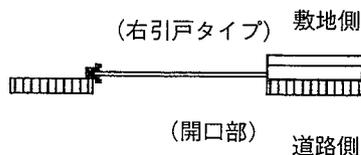
■開口部側の確認をして下さい

彩ライン「ノンレール引戸」B型



彩ライン「ノンレール引戸」B型は
取付説明書[1]からの
作業を行ってください

彩ライン「ノンレール引戸」A型



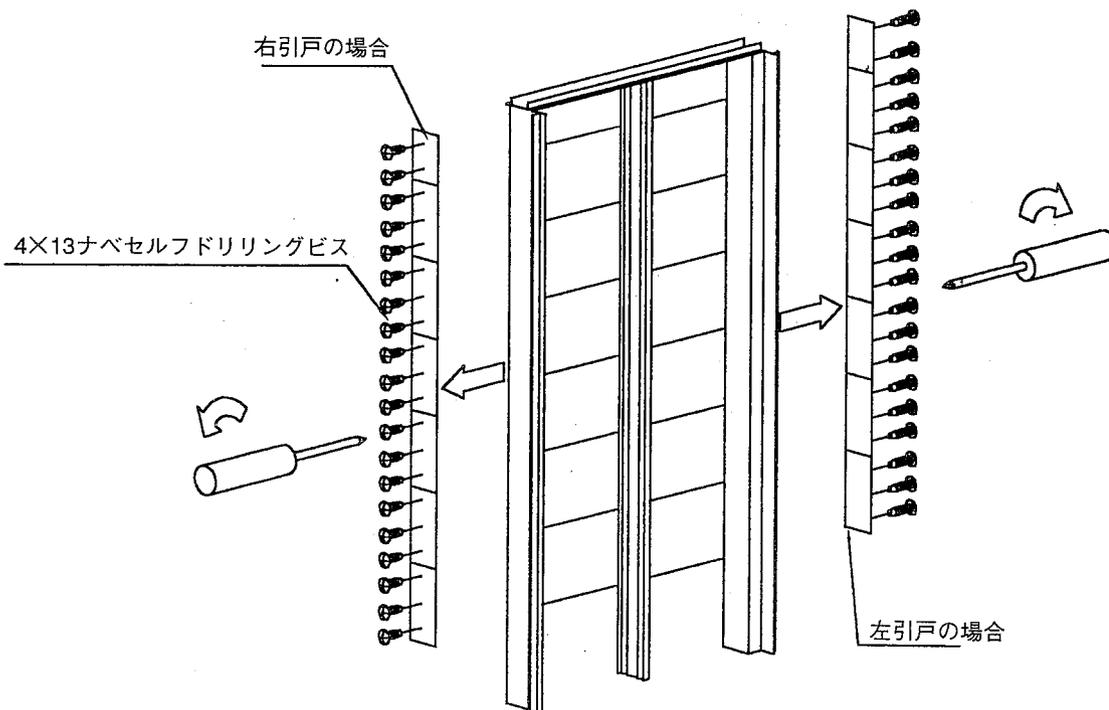
彩ライン「ノンレール引戸」A型は
取付説明書[3]からの
作業を行ってください

1 柱ユニット (外部側) のAP下地材を取り外して下さい。(下図参照)

(左引戸、右引戸に応じて片側のみ取り外します。)

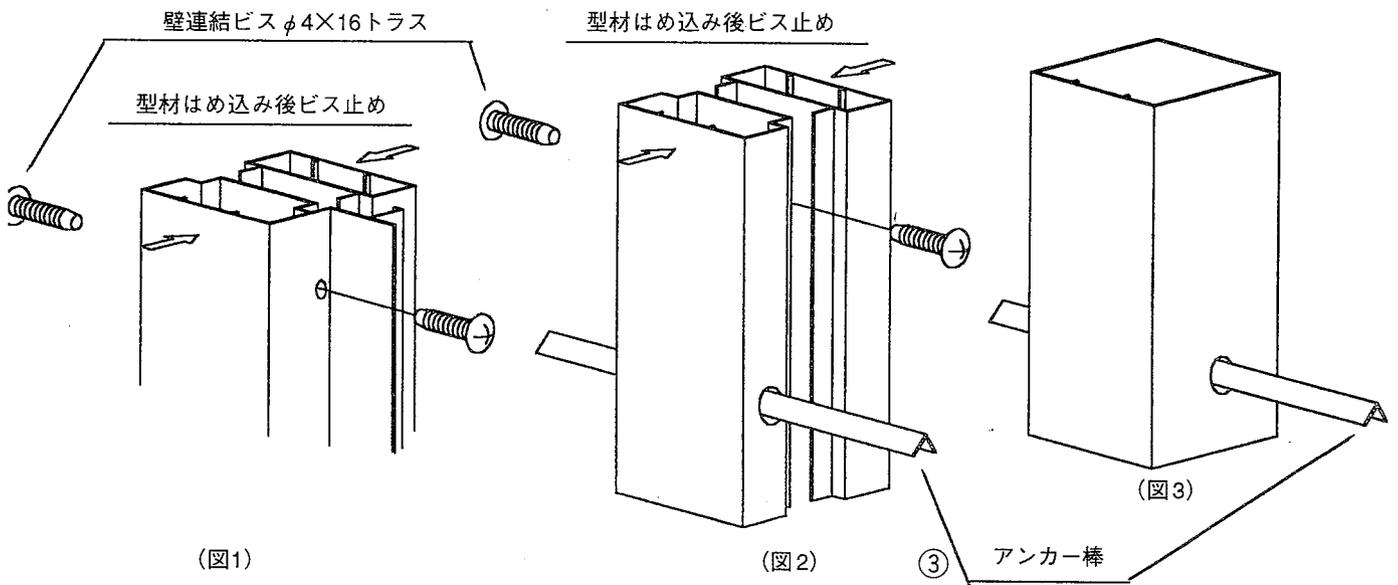
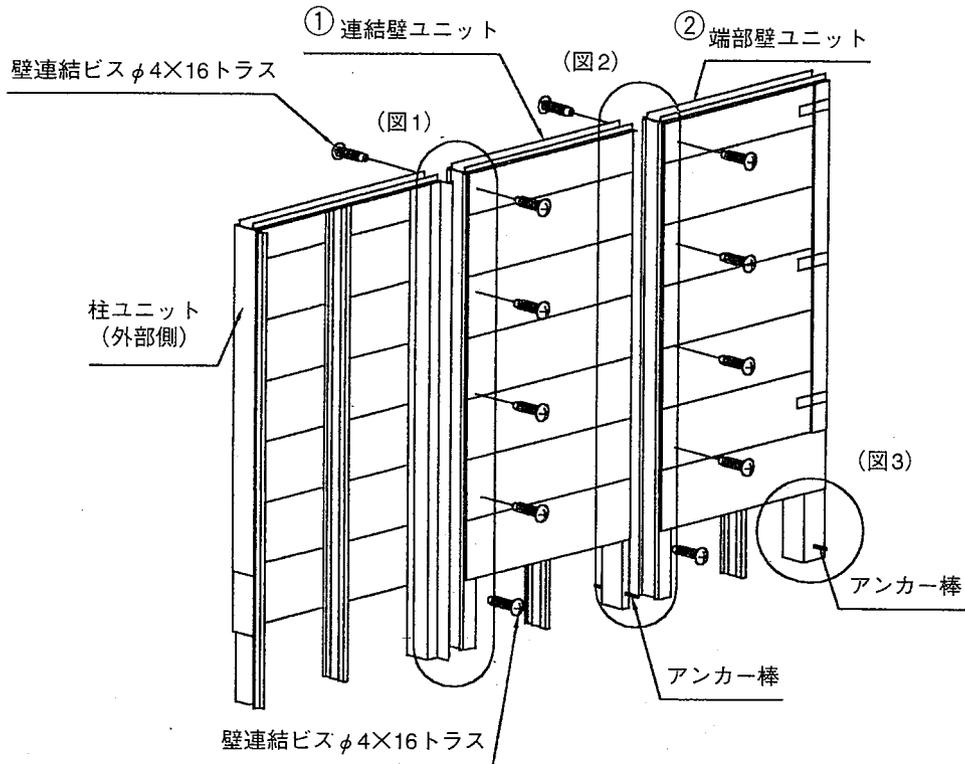
危険防止のため保護ダンボールが取付いております

AP下地材の取外し側のみ保護ダンボールを外して下さい



取り外した部材・ビスは使用しません。

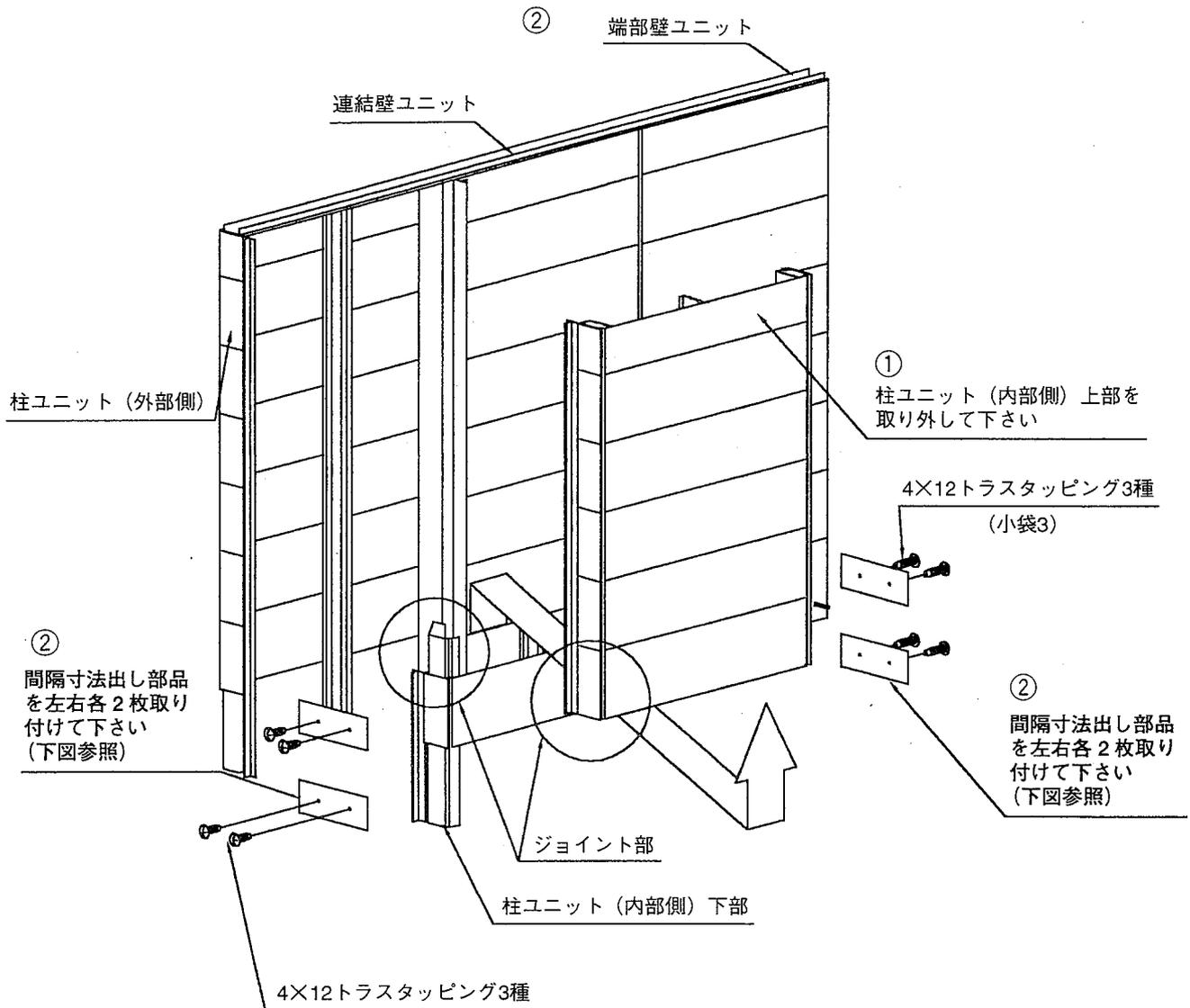
② 柱ユニット（外部側）・連結壁ユニット・端部壁ユニットを下図の様に組み立てて下さい
 （本図は左引き戸タイプです。右引き戸タイプの場合は対称となります）



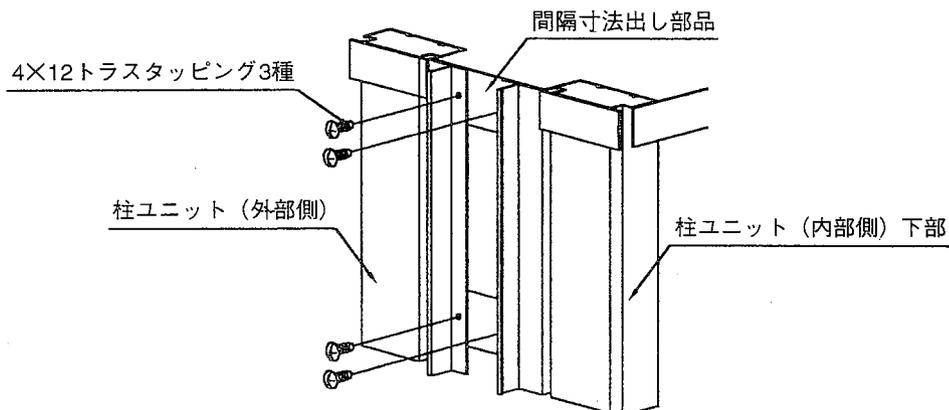
- 作業手順**
- ① 柱ユニットとに連結壁ユニットを差し込み（図1）
 固定して下さい。（4×16トラスタッピング3種 10本）
 - ② 連結壁ユニットとに端部壁ユニットを差し込み（図2）
 固定して下さい。（4×16トラスタッピング3種 10本）
 - ③ 連結壁ユニット（図2）と端部壁ユニット（図3）に
 アンカー棒を差し込んで下さい。

③ 柱ユニット（内部側）を下図のように組み立てて下さい

（下図はノンレール引戸B型ですがA型には連結壁ユニット・端部壁ユニットはありません。）

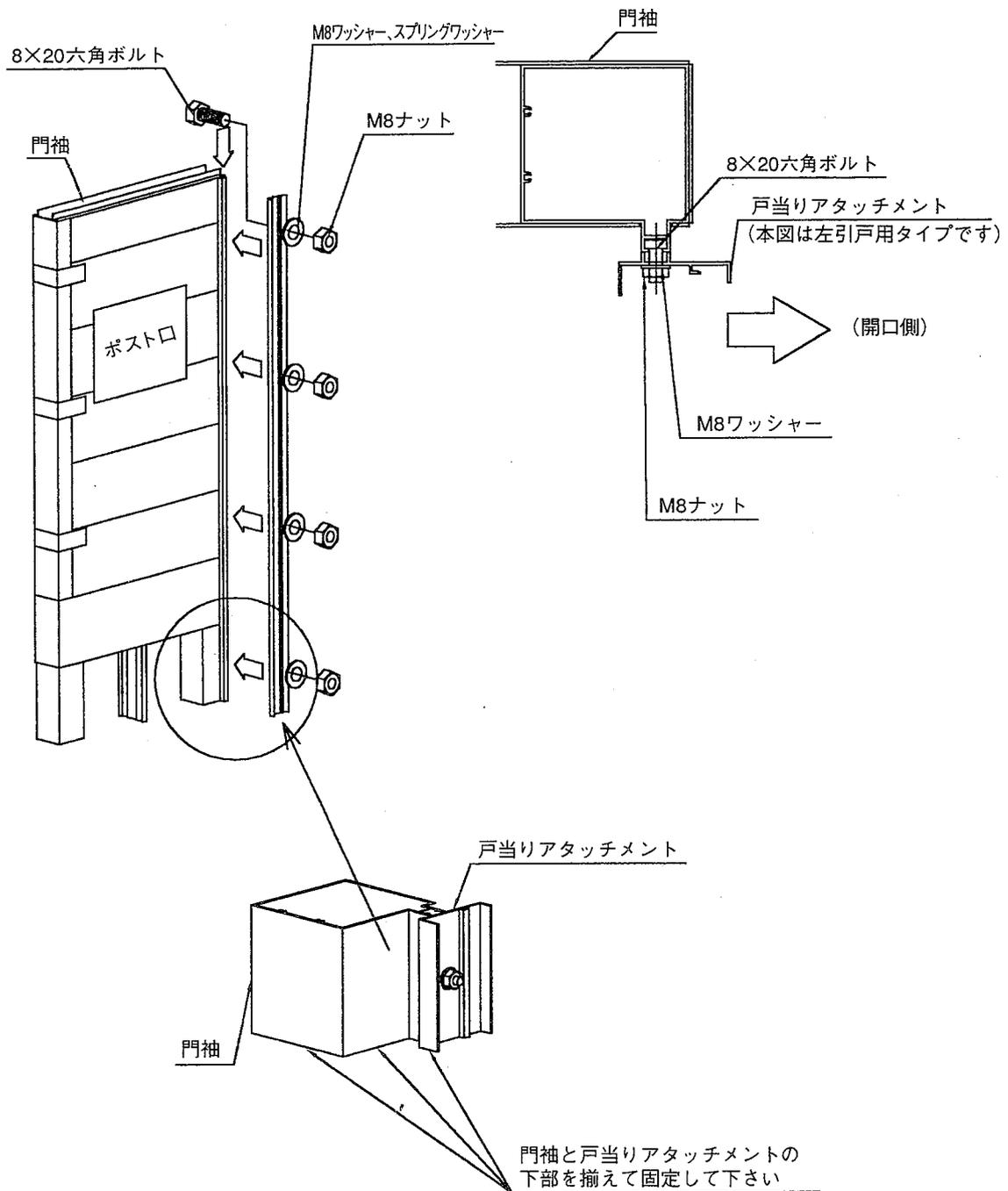


- 作業手順**
- ① 梱包では柱ユニット（内部側）上部と下部がセットになっていますので持ち上げて上部と下部に分けて下さい。
 - ② 柱ユニット（内部側）下部と柱ユニット（外部側）とを間隔寸法出し部品で取り付けて下さい。（4×12トラスタッピング3種 8本）



注意 取外した柱ユニット（内部側）上部は扉本体を取付ける時に使用します。（11参照）

- 4 戸当り連結アタッチメントを下図のように取り付けて下さい
 (門袖の取付については、門袖の取付説明書 (ME-1253) を参照して下さい。)



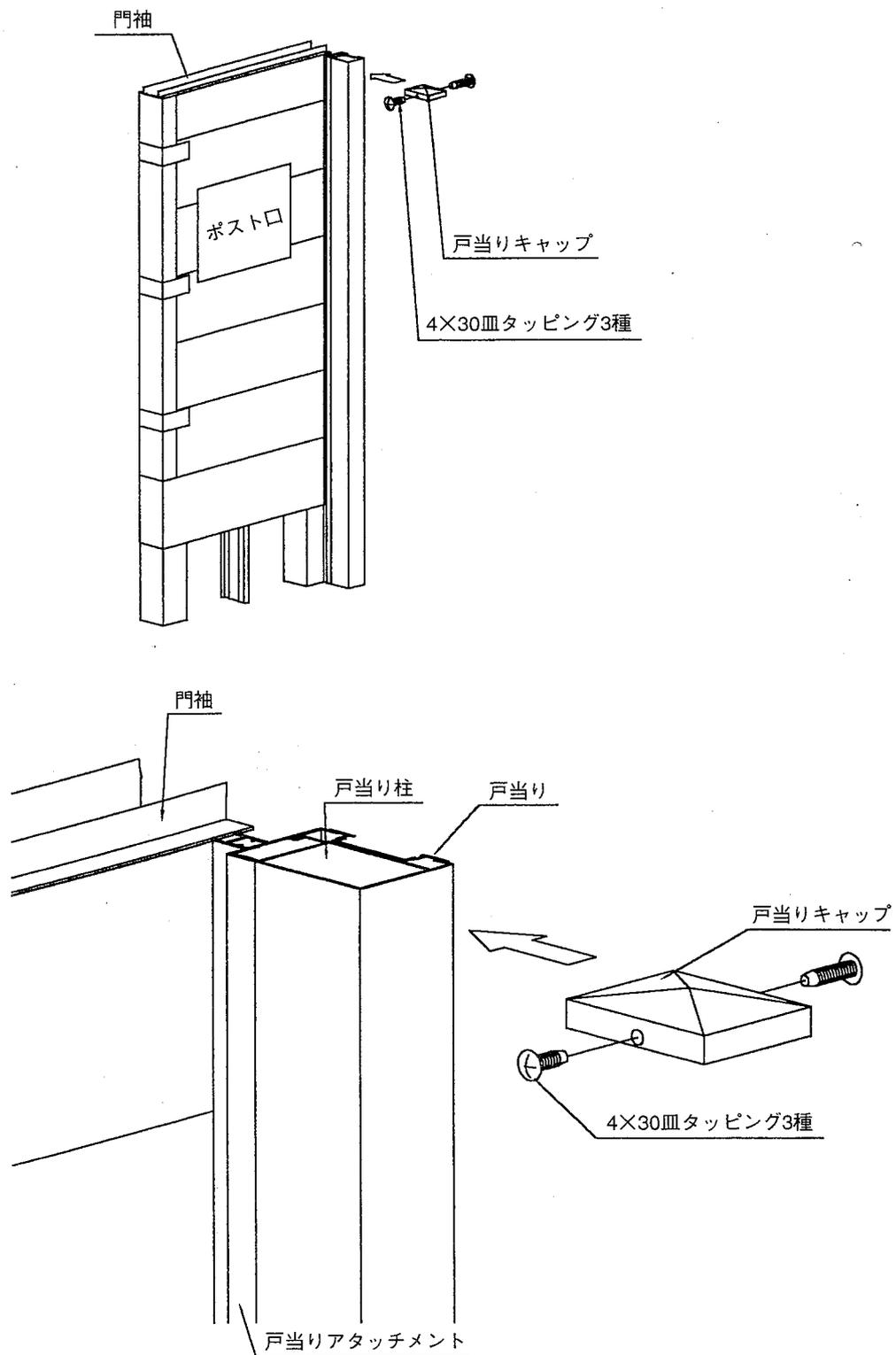
作業手順

門袖にM8×20六角ボルトを入れ、戸当り連結アタッチメントをM8ワッシャーとM8スプリングワッシャーとM8ナット4個で固定して下さい。

注意 門袖と戸当りアタッチメントの下部を揃えて固定して下さい。

右引戸タイプの時は、戸当りアタッチメントの天地をひっくり返して下さい。
 (本図は、左引戸タイプです)

6 戸当りキャップを下図のように取り付けて下さい

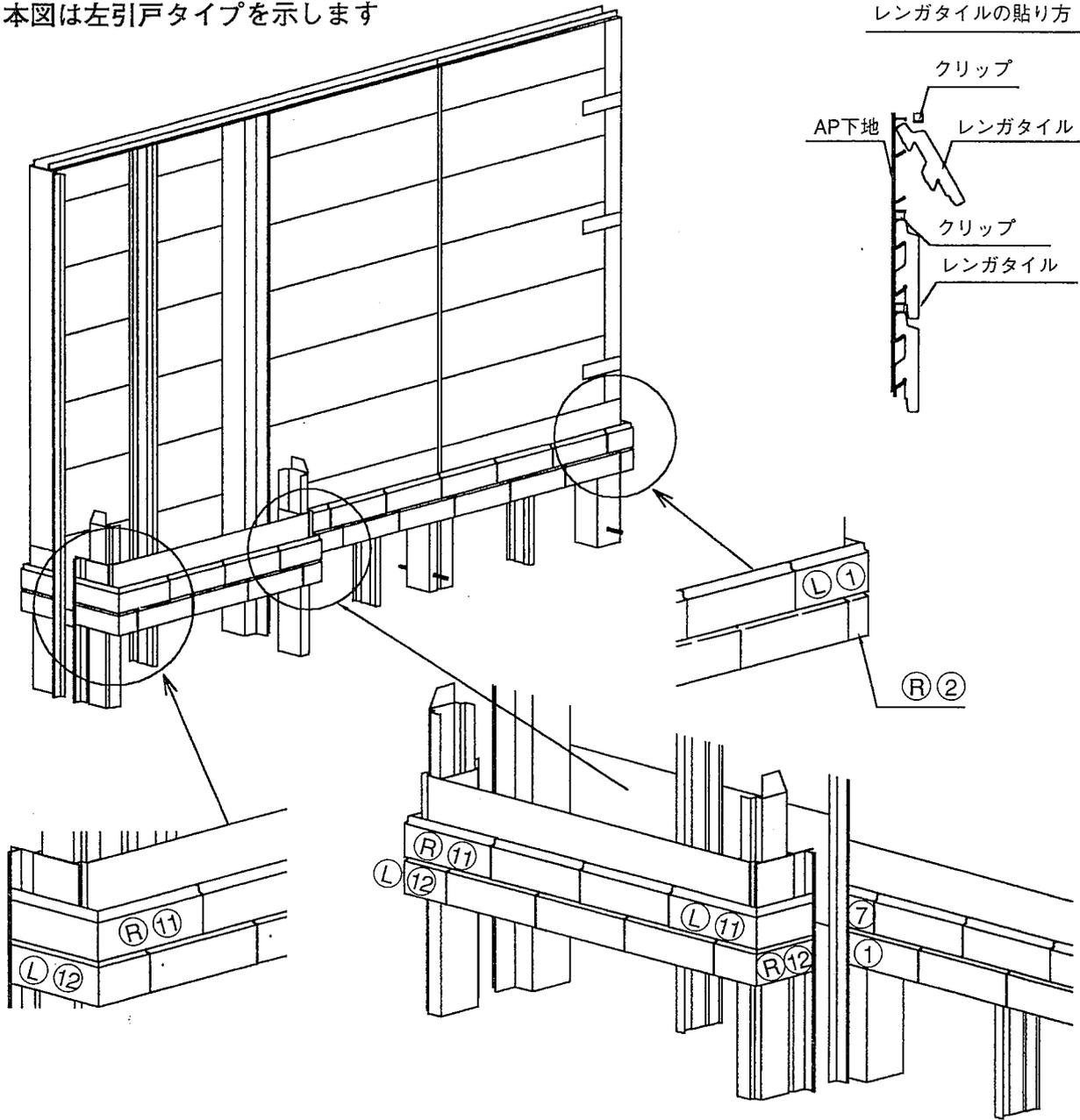


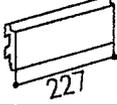
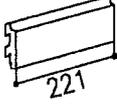
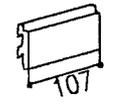
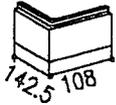
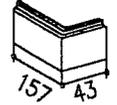
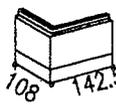
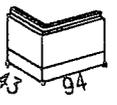
作業手順 戸当り柱に戸当りキャップを取付けて下さい。

(4×30皿タッピング3種)

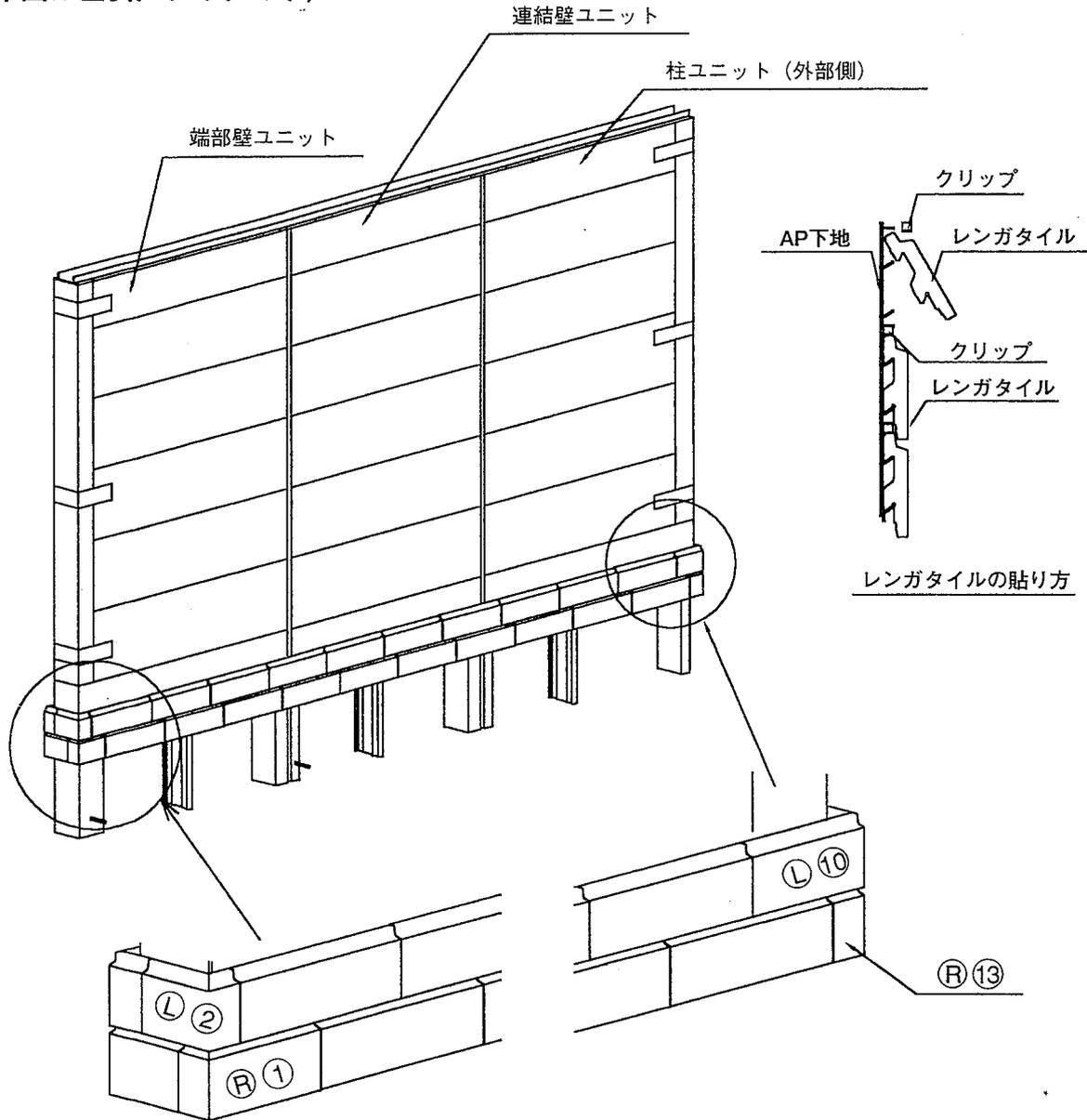
次にレンガタイルを下から2段まで取付けますが、
取付方法は、門袖に入っています取付説明書 (ME-1253) を
ご参照してください。

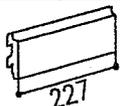
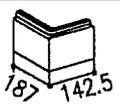
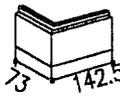
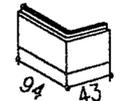
7-1 レンガタイル下端2段の取付けをして下さい（柱ユニット内部側）
 スタンプ記号を確認しながらレンガタイルを下2段に取付けて下さい。
 本図は左引戸タイプを示します



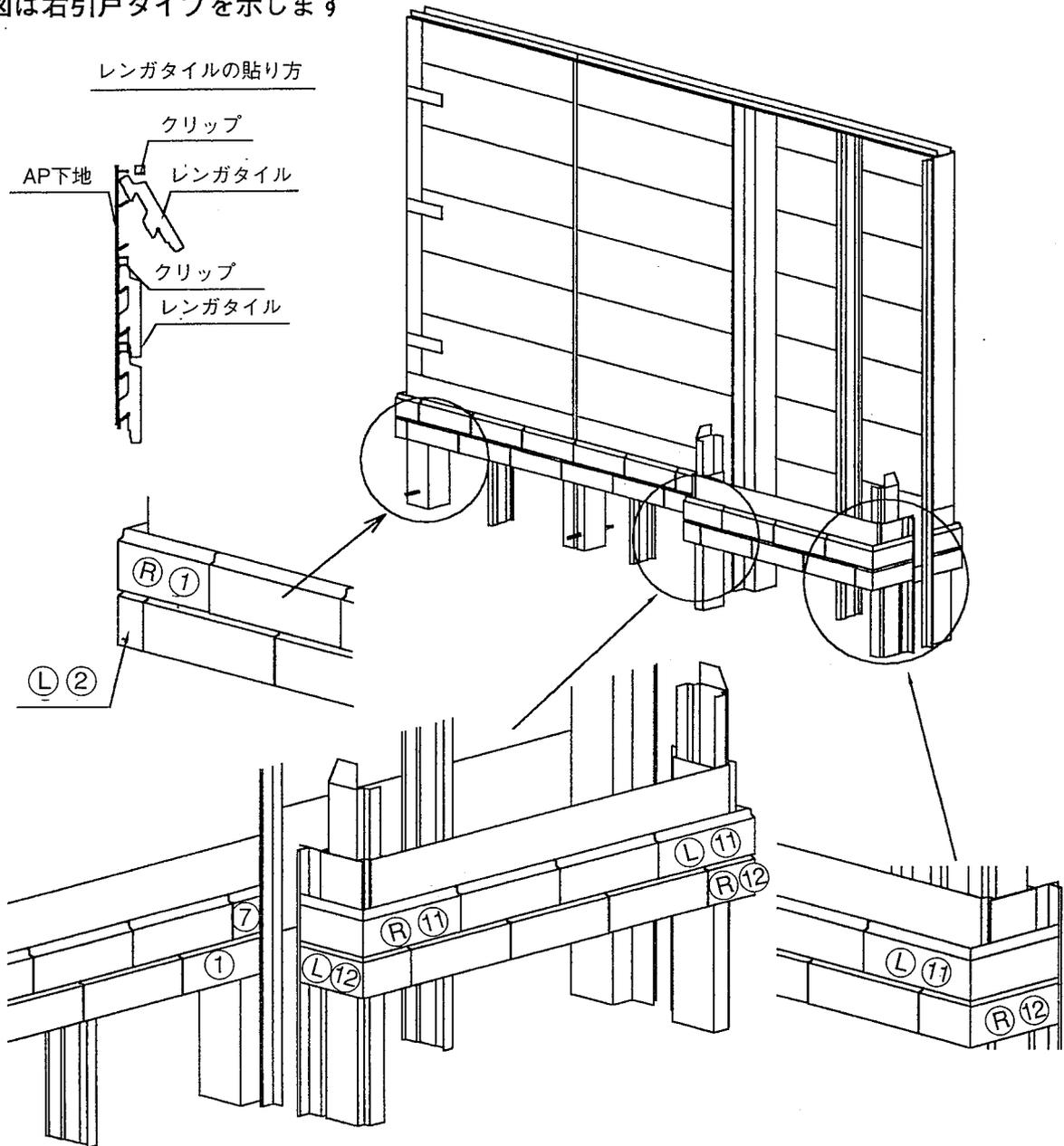
製品名称	姿 図	スタンプ記号	製品名称	姿 図	スタンプ記号
レンガ二丁平 20枚		ナシ	レンガ柱 ユニット部用A		L 11
レンガB型 二丁平		①	レンガ柱 ユニット部用B		R 11
		⑦			L 12
レンガ曲げA 10枚左曲		L ①			R 12
レンガ曲げB 10枚右曲		R ②			

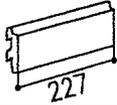
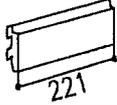
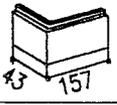
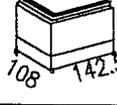
7-1 スタンプ記号を確認しながらレンガタイルを下2段に取付けて下さい。(柱ユニット外部側)
 (本図は左引戸タイプです)



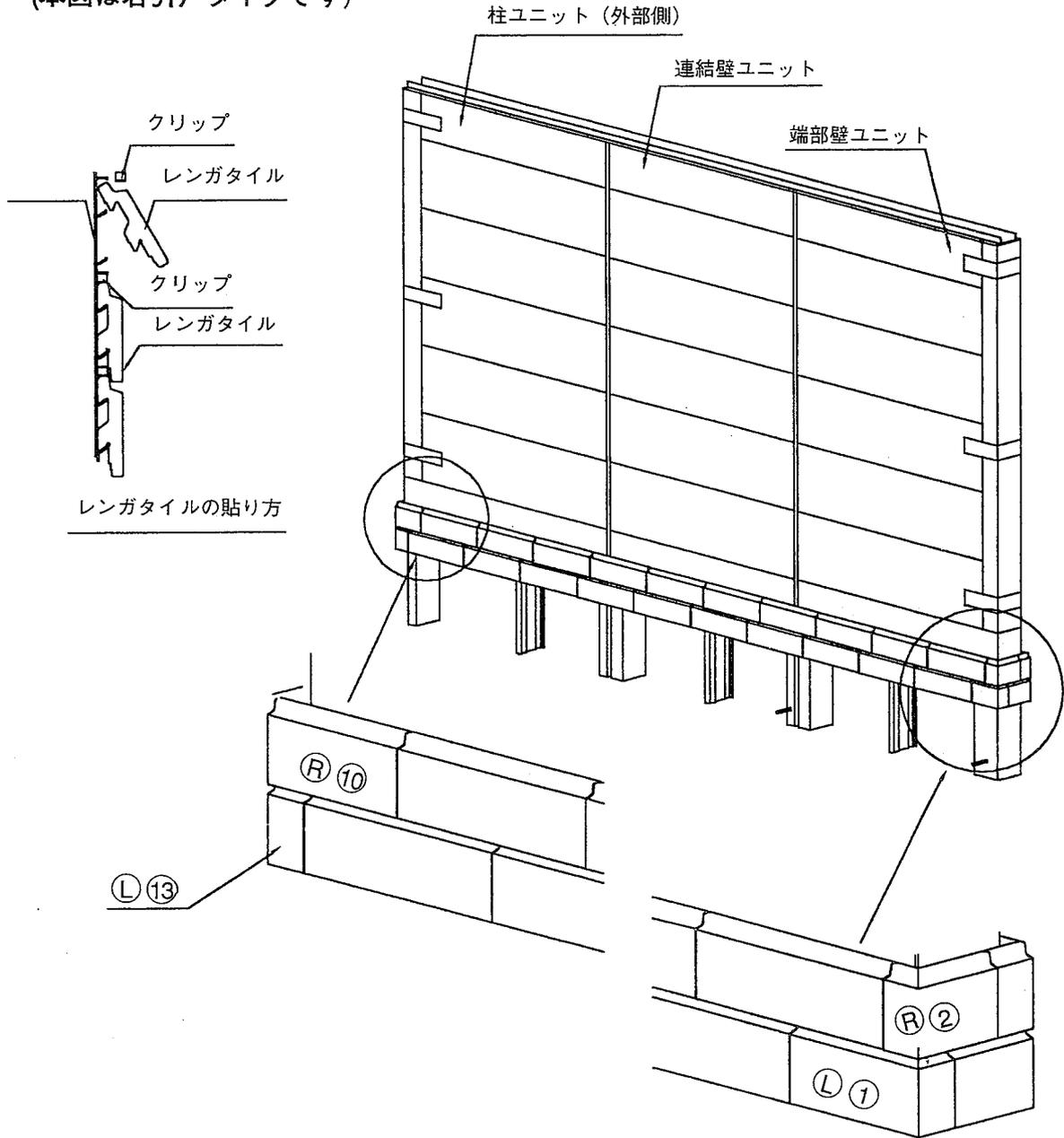
製品名称	姿 図	スタンプ記号	製品名称	姿 図	スタンプ記号
レンガニ丁平 20枚		ナシ	レンガB型 L勝手		L 10
レンガ曲げA 10枚右曲		R 1			R 13
レンガ曲げB 10枚左曲		L 2			

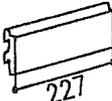
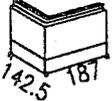
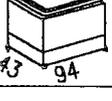
7-2 レンガタイル下端2段の取付けをして下さい（柱ユニット内部側）
 スタンプ記号を確認しながらレンガタイルを下2段に取付けて下さい。
 本図は右引戸タイプを示します



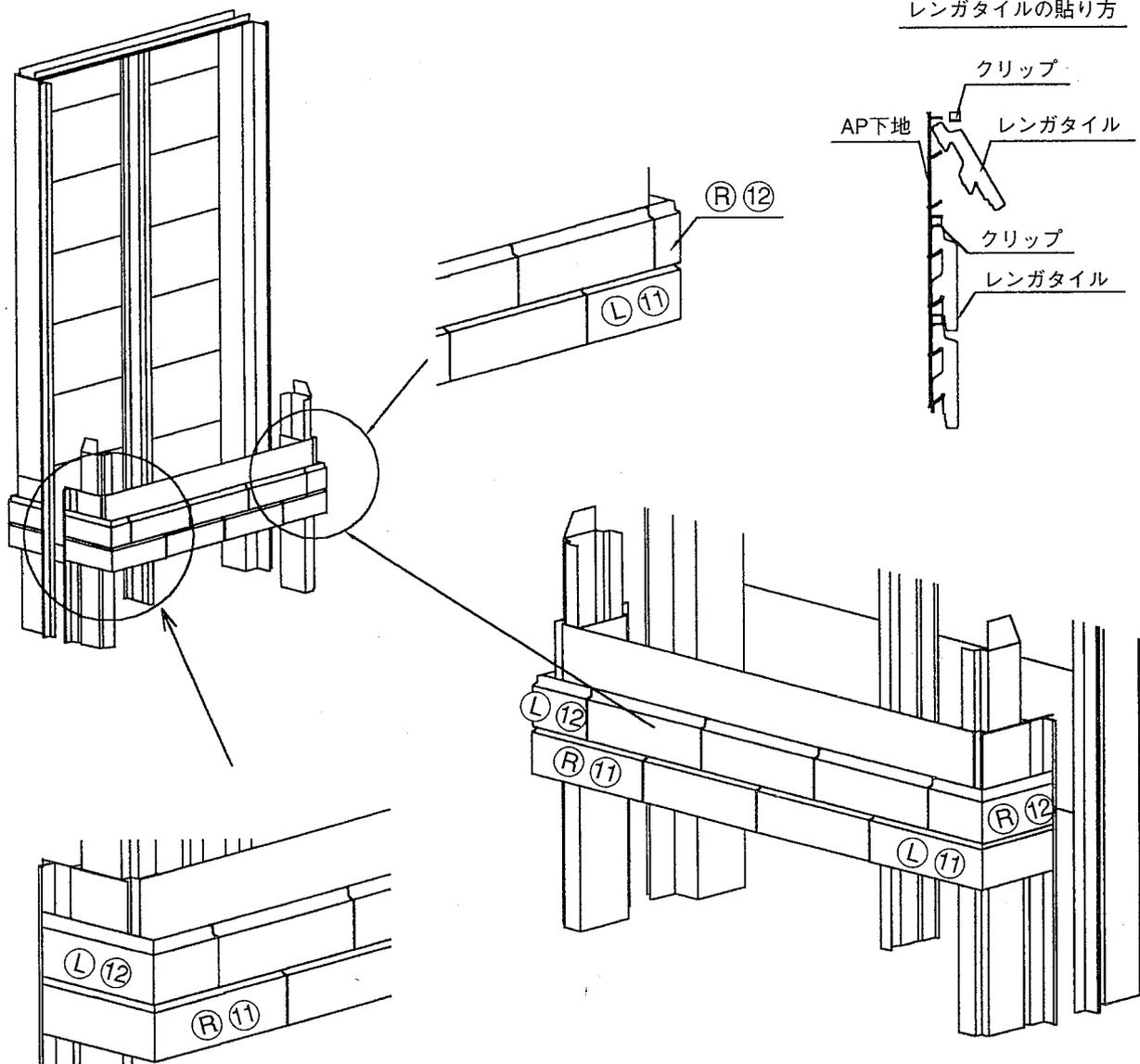
製品名称	姿 図	スタンプ記号	製品名称	姿 図	スタンプ記号
レンガ二丁平 20枚		ナシ	レンガ柱 ユニット部用A		Ⓛ ①
レンガB型 二丁平		①	レンガ柱 ユニット部用B		Ⓡ ①
		⑦			Ⓛ ⑫
レンガ曲げA 10枚右曲		Ⓡ ①			Ⓡ ⑫
レンガ曲げB 10枚左曲		Ⓛ ②			

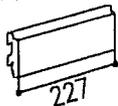
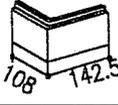
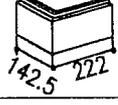
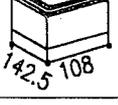
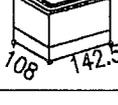
7-2 スタンプ記号を確認しながらレンガタイルを下2段に取付けて下さい。(柱ユニット外部側)
 (本図は右引戸タイプです)



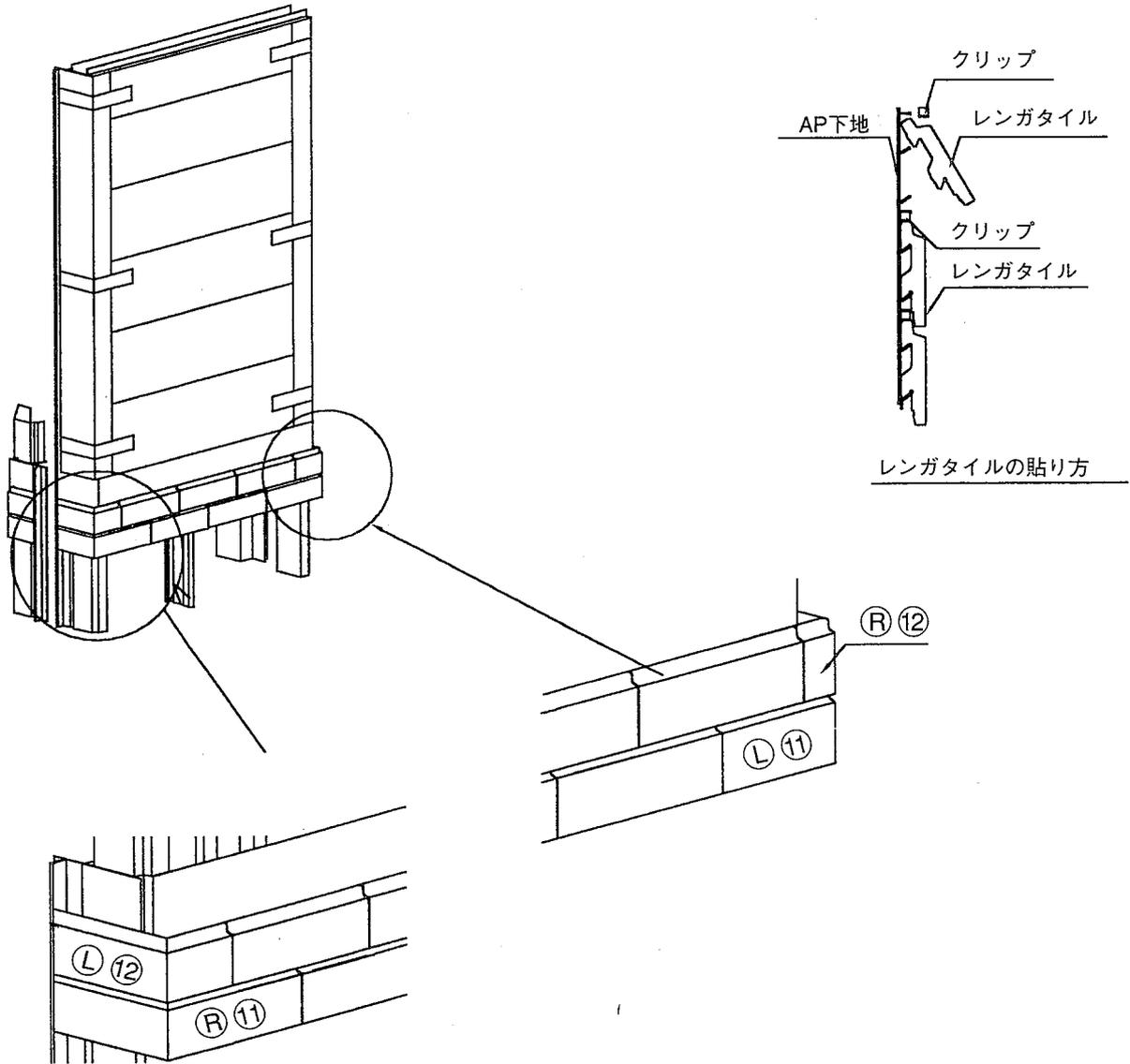
製品名称	姿 図	スタンプ記号	製品名称	姿 図	スタンプ記号
レンガ二丁平 20枚		ナシ	レンガB型 R勝手		(R) 10
レンガ曲げA 10枚左曲		(L) ①			(L) 13
レンガ曲げB 10枚右曲		(R) ②			

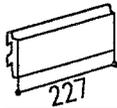
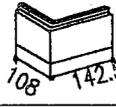
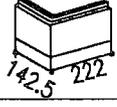
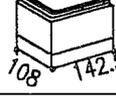
7-3 レンガタイル下端2段の取付けをして下さい（柱ユニット内部側）
 スタンプ記号を確認しながらレンガタイルを下2段に取付けて下さい。
 A型は左右引戸タイプ共下図の様に張り付けて下さい。



製品名称	姿 図	スタンプ記号	製品名称	姿 図	スタンプ記号
レンガニ丁平 20枚	 227	ナシ	レンガ柱 ユニット部用B	 142.5 108	L 12
レンガ柱 ユニット部用A	 222 142.5	L 11	レンガA型用 セット	 108 142.5	R 12
	 142.5 222	R 11		 142.5 108	L 12
				 108 142.5	R 12

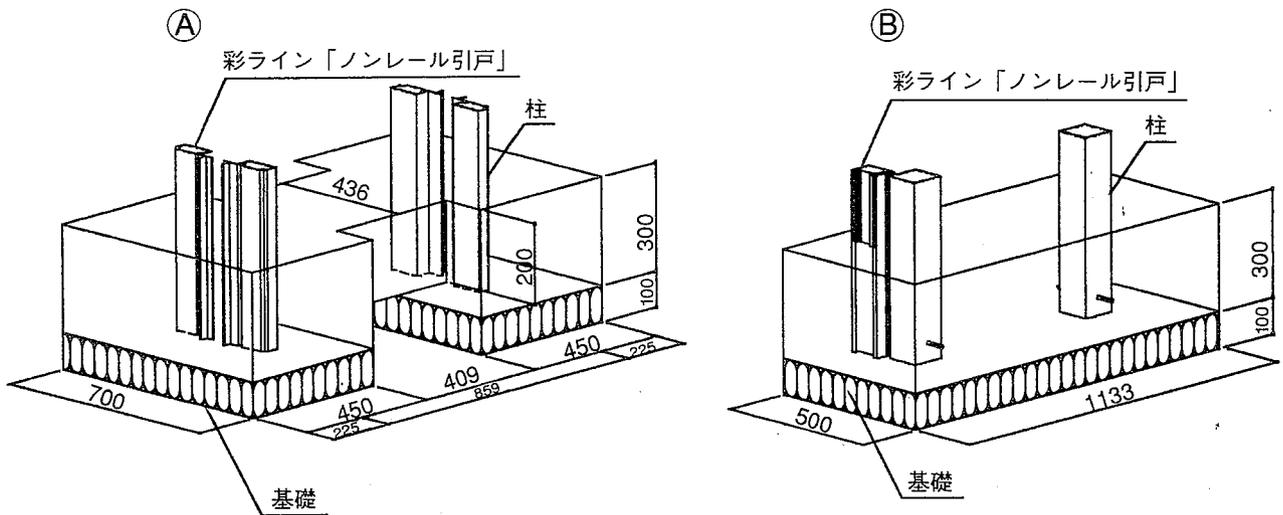
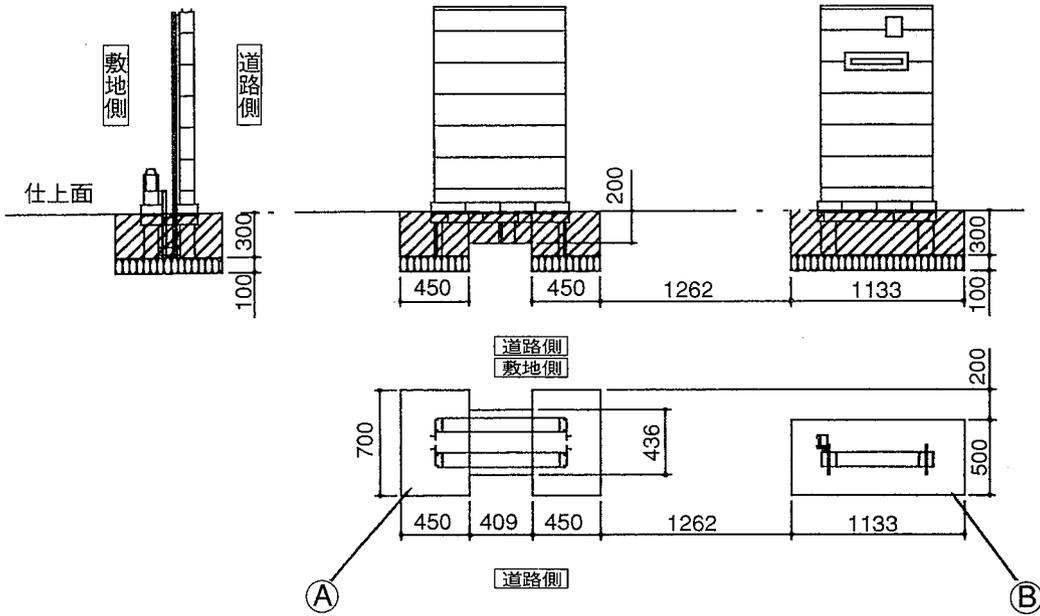
7-3 スタンプ記号を確認しながらレンガタイルを下2段に取付けて下さい。(柱ユニット外部側)
 A型は、左右引戸タイプ共下図の様に張り付けて下さい。



製品名称	姿 図	スタンプ記号	製品名称	姿 図	スタンプ記号
レンガ二丁平 20枚		ナシ	レンガ柱 ユニット部用B		L 12
レンガ柱 ユニット部用A		L 11	レンガA型用 セット		R 12
		R 11			L 12
					R 12

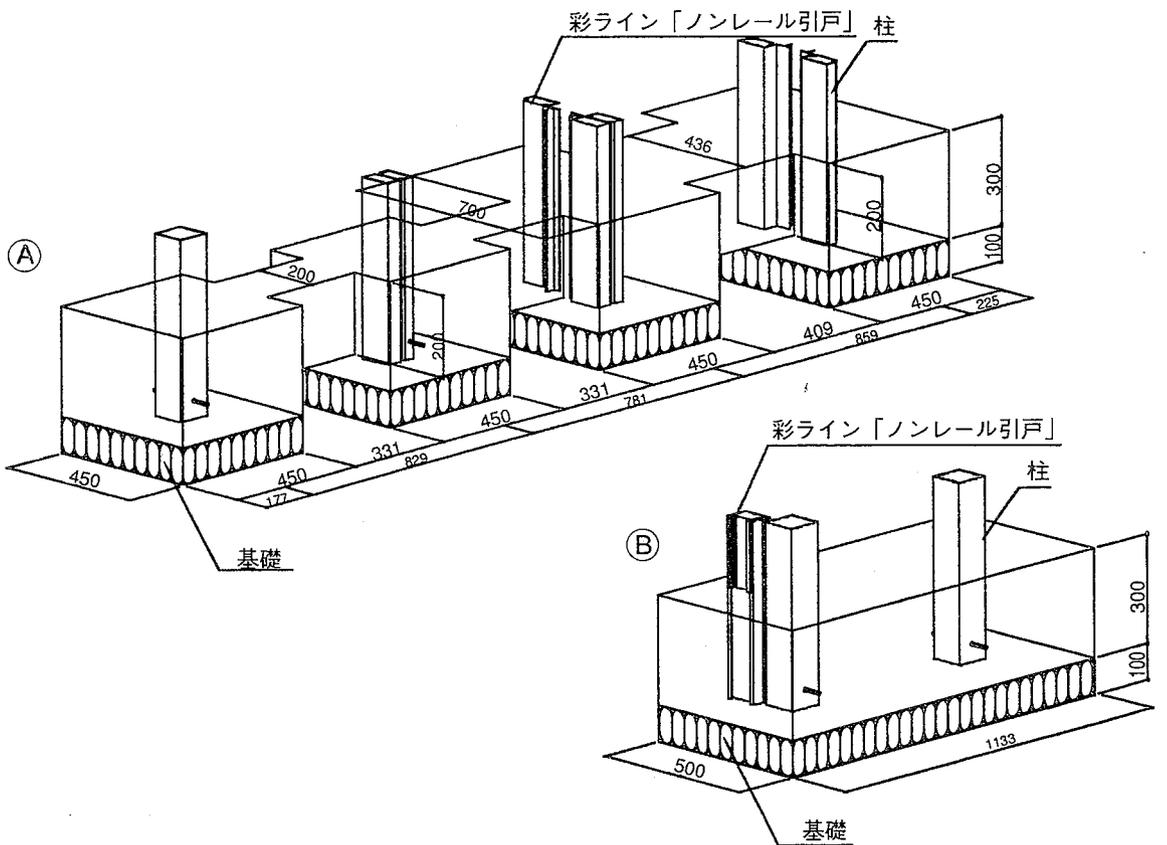
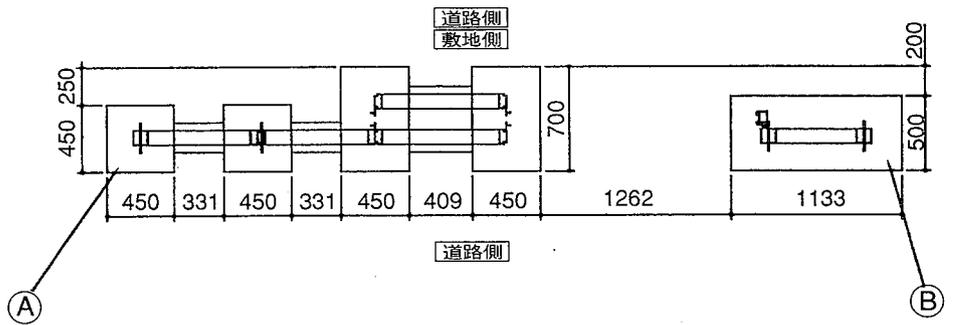
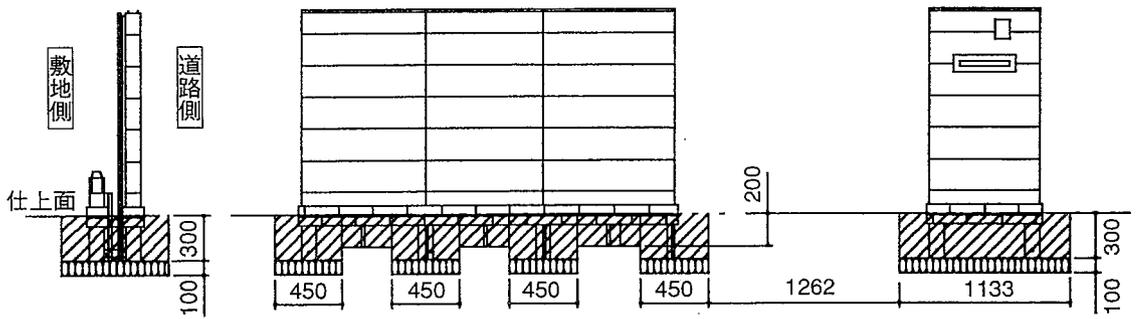
8 基礎の施工を行って下さい
商品に合わせて基礎を施工して下さい。

■彩ライン「ノンレール引戸」A型 基礎伏図（本図は左引戸タイプです）



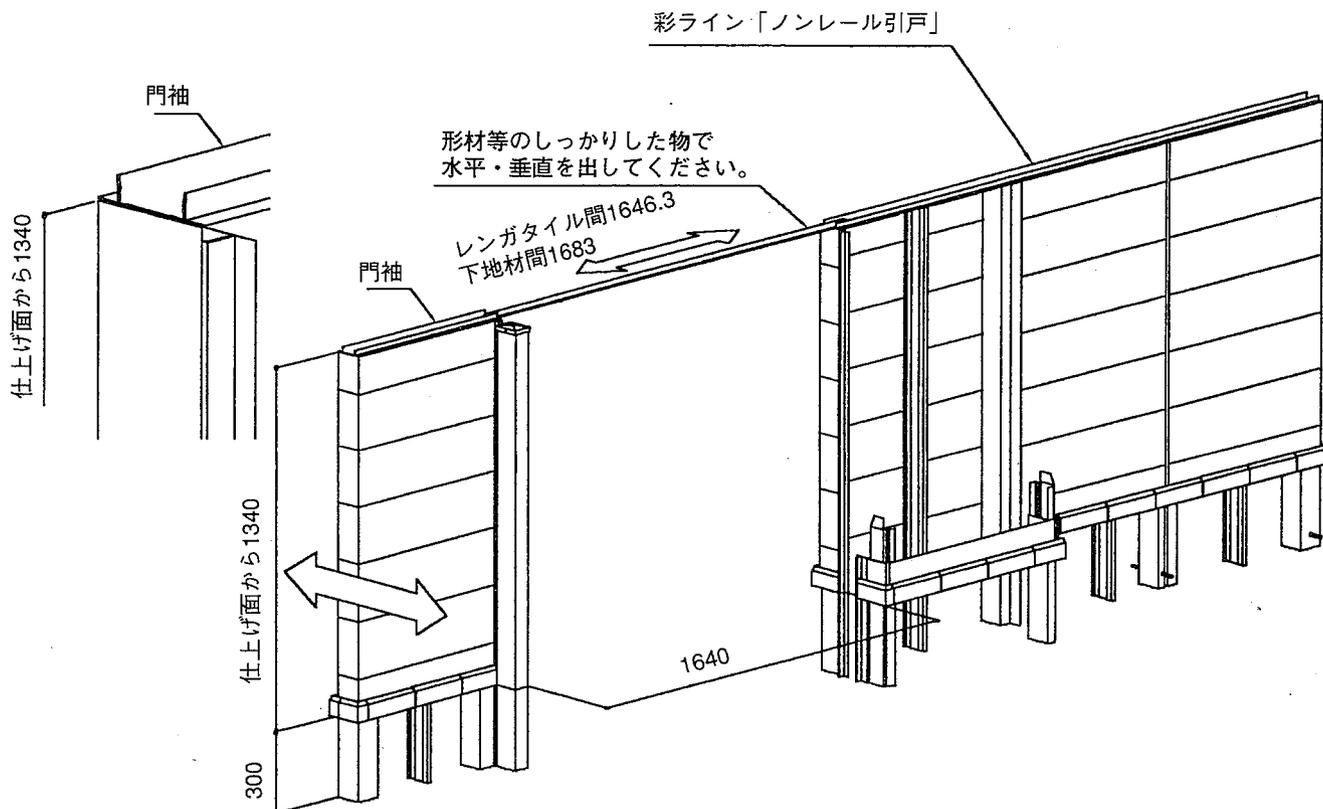
- 注意 1. 地盤が軟弱な場合は、基礎の深さ、フーチングの大きさを考慮して下さい。
2. 柱基礎には必ず「割ぐり石」を敷き十分つき固めて下さい。

■彩ライン「ノンレール引戸」B型 基礎伏図（本図は左引戸タイプです）

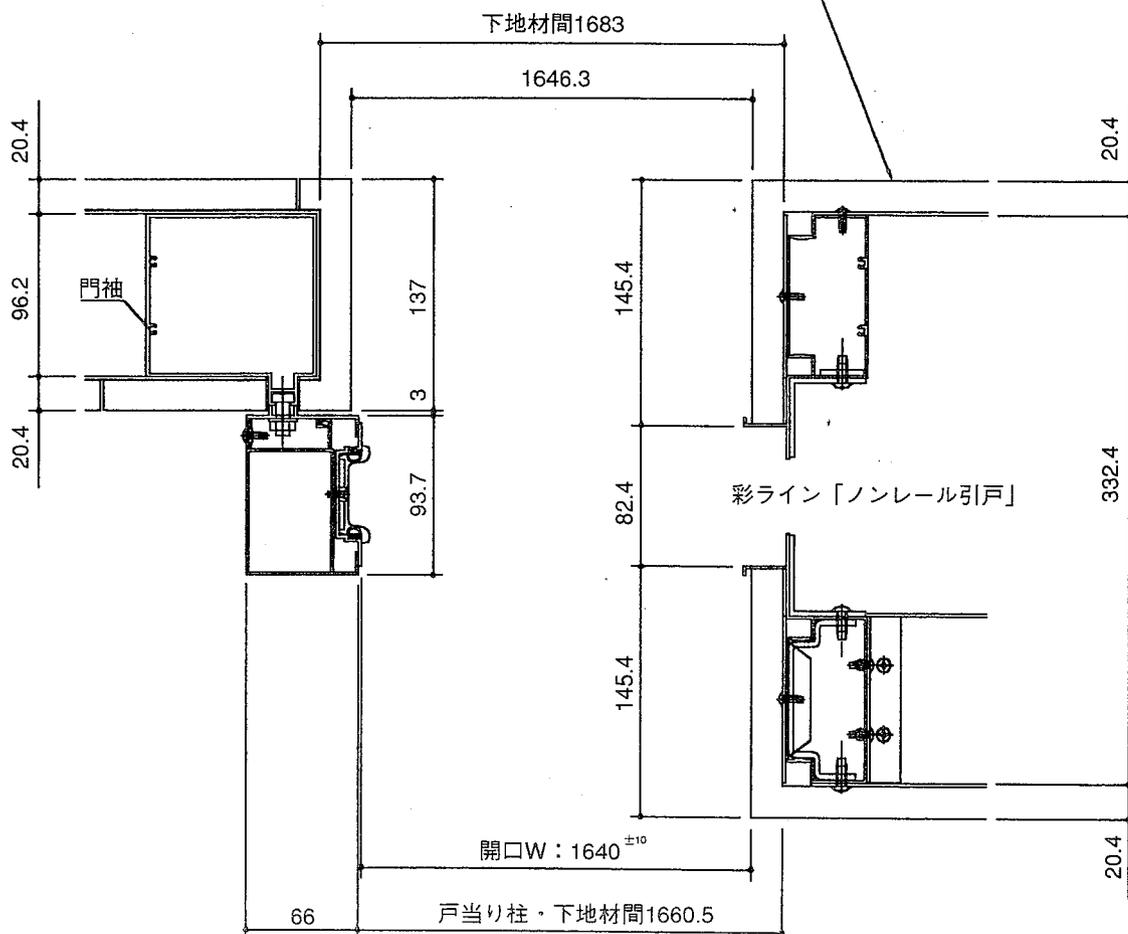


- 注意 1. 地盤が軟弱な場合は、基礎の深さ、フーチングの大きさを考慮して下さい。
 2. 柱基礎には必ず「割ぐり石」を敷き十分つき固めて下さい。

9-1 門袖・彩ライン「ノンレール引戸」を設置して下さい（本図は左引戸タイプです）
 門袖と彩ライン「ノンレール引戸」の水平・垂直・通り・開口部に注意して設置して下さい。



門袖と彩ライン「引戸ユニット」の彩ブリックの
 通りを揃えてください。



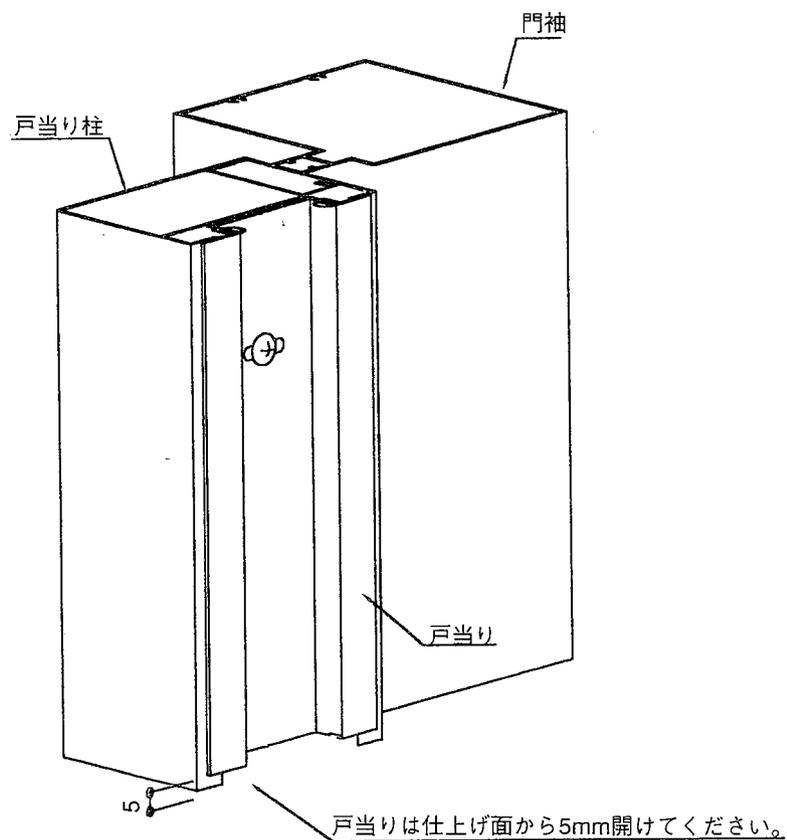
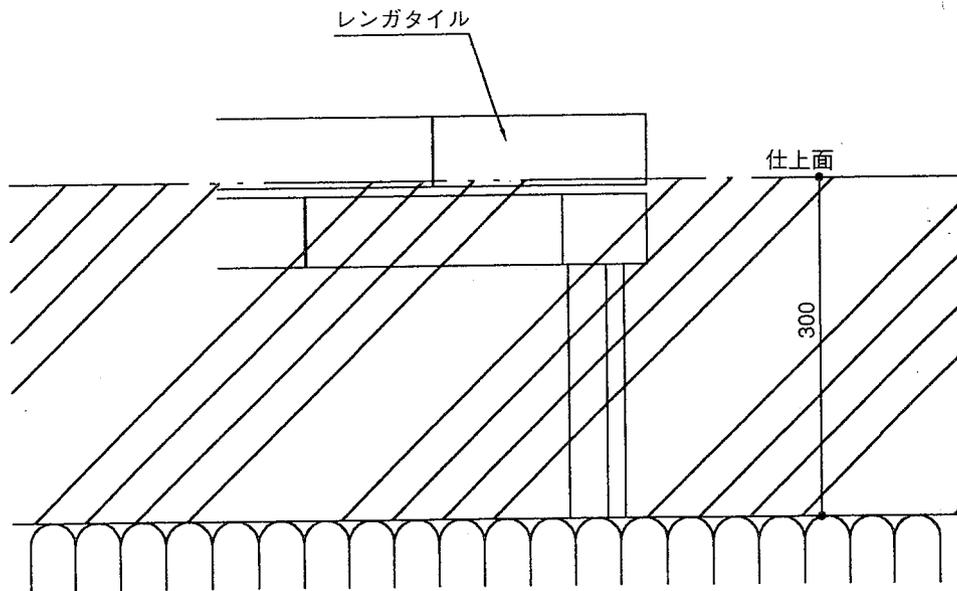
9-2 コンクリートで埋め込んで下さい

8を参照にコンクリートを流し込んで下さい。

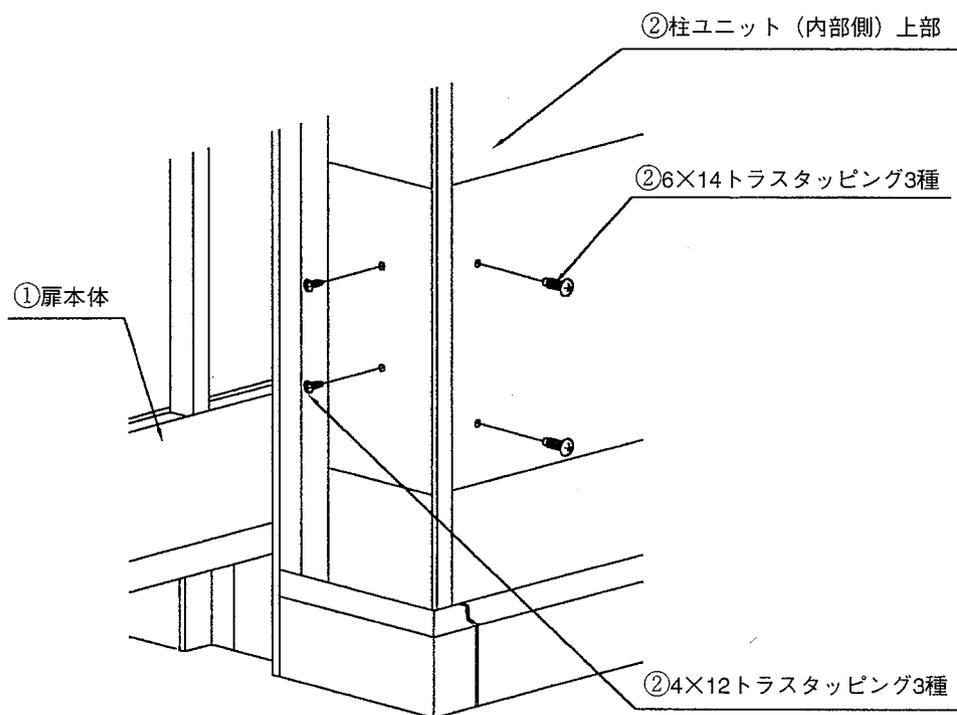
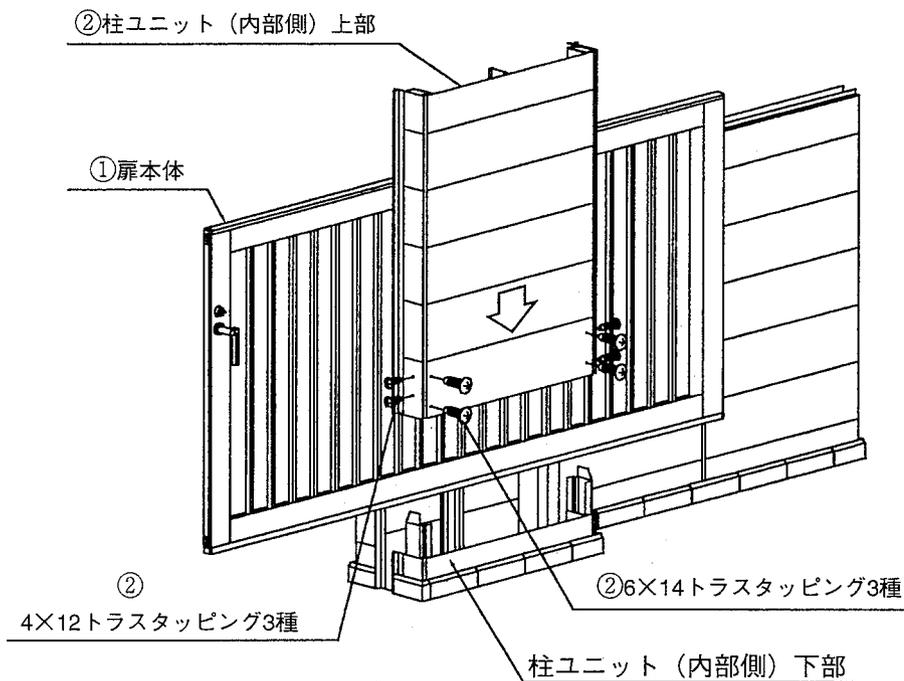
戸当り部は、下図を参照に行ってください。埋め込んでしまうと戸当りの調整が出来なくなるので注意して下さい。

柱ユニット側も埋込寸法は300mmです。

(下戸車の下端と仕上面のクリアランスが10mmになる様にしてください。)

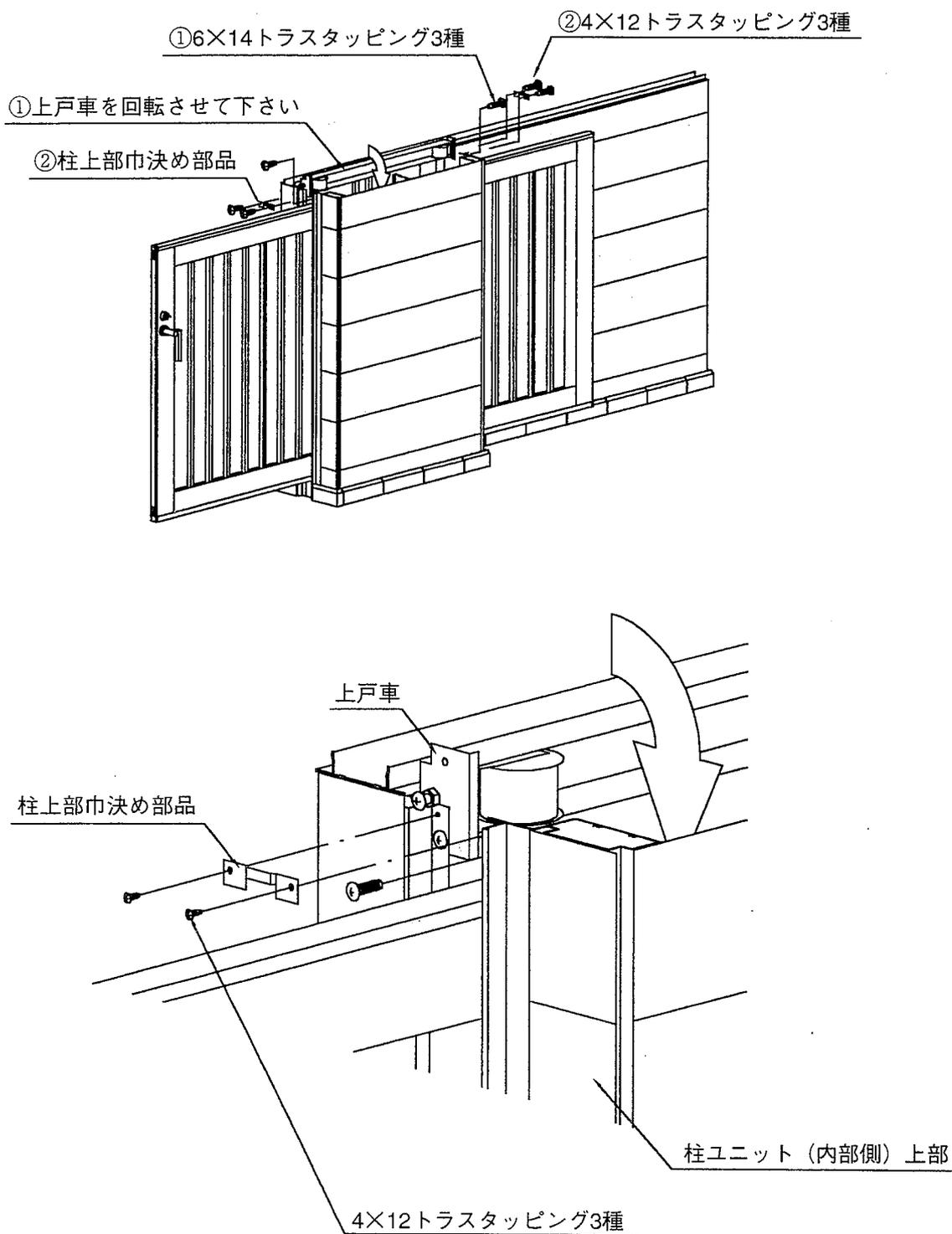


11 扉本体・柱ユニット（内部側）上部を下図のように取付けて下さい



- 作業手順**
- ①扉本体を入れて下さい。
 - ②柱ユニット（内部側）上部の両側の柱に、柱ユニット（内部側）下部の柱ジョイント金具の差し込み6×14トラスタッピング3種と4×12トラスタッピング3種で固定して下さい。

12 上戸車・柱ユニット（内部側）上部を下图のように取付けて下さい

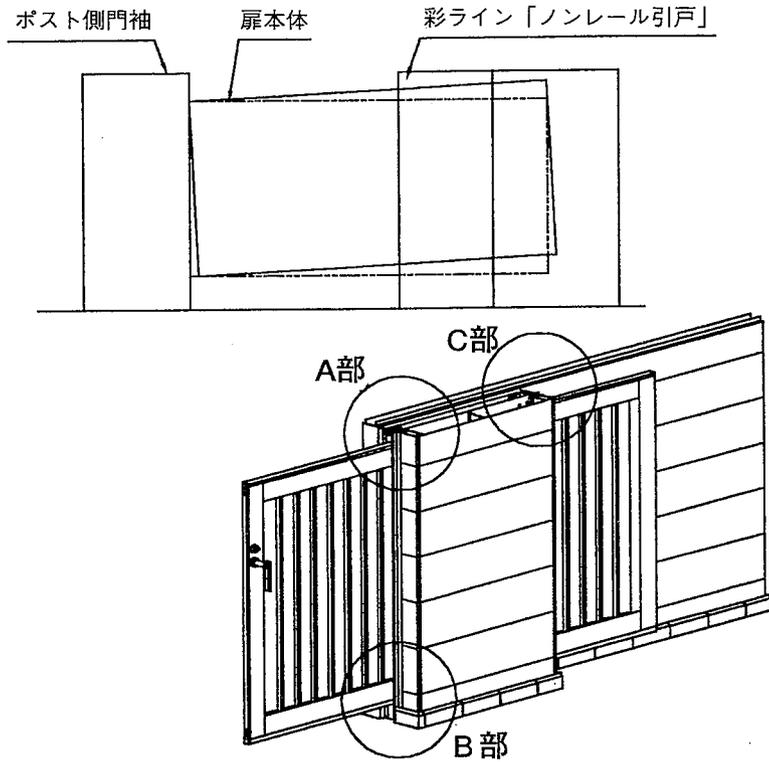


- 作業手順**
- ①上戸車を回転させて柱ユニット（内部側）に取付けて下さい。
（6×14トラスタッピング3種）
 - ②柱上部巾決め部品を取付けて下さい。
（4×12トラスタッピング3種）

13 扉本体の調整をして下さい

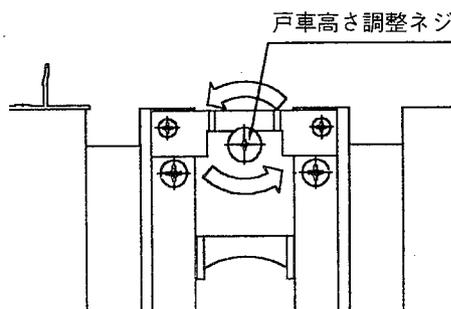
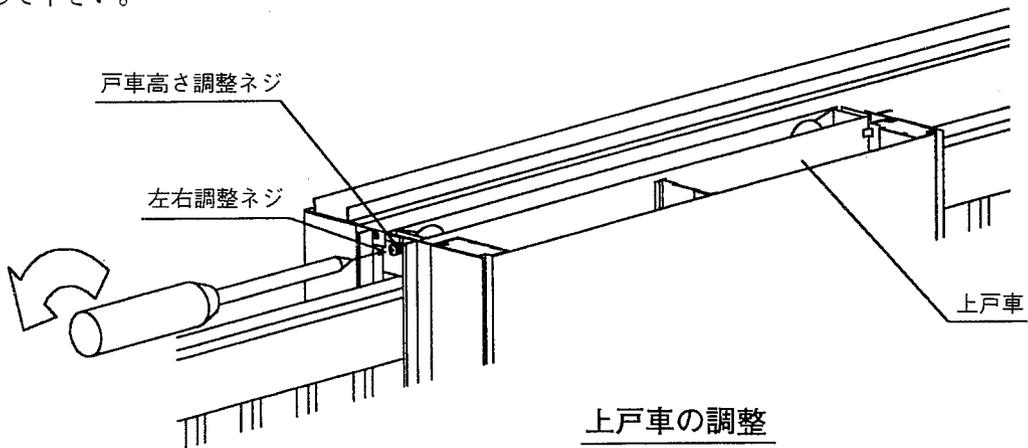
引戸門扉が重い場合、扉が下図のようになっているのが原因です。
次の手順に従って戸車を調整して下さい。

(引戸門扉が反対に傾いている時は、口の工程でドライバーを
図と反対に回転させて下さい。)



イ 上戸車 (A部) の戸車高さ調整ネジを回す。

戸車高さ調整ネジを回して、戸車が引戸門扉を押さえつけていない
状態にして下さい。



13

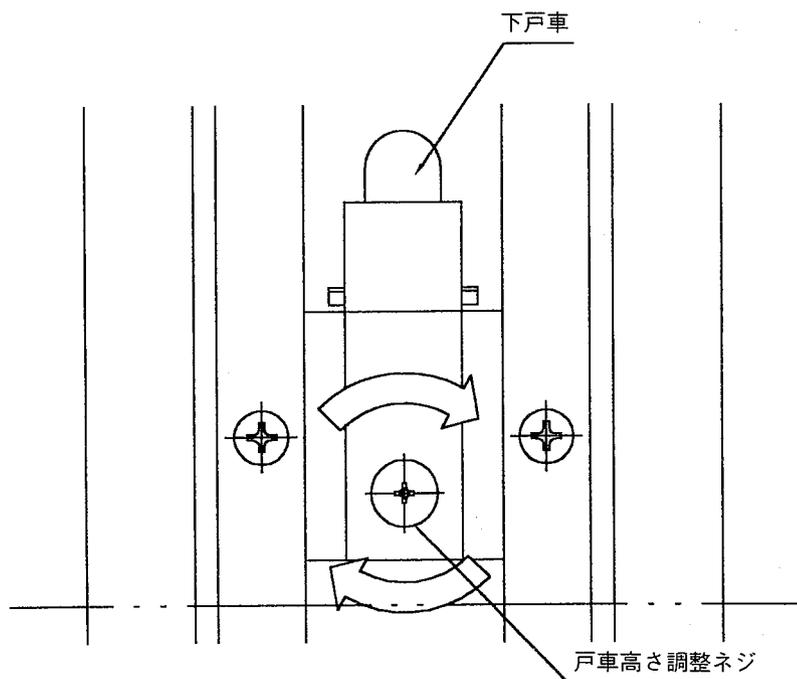
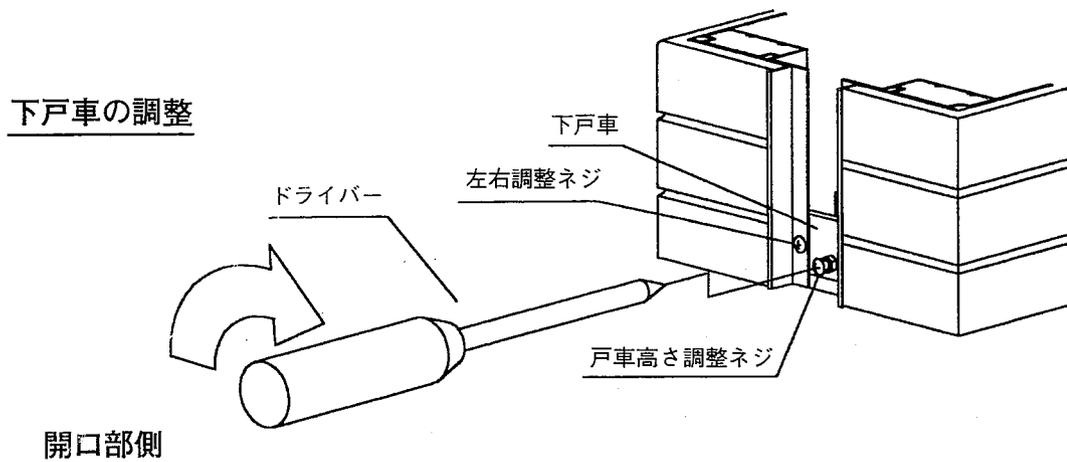
□ 下戸車 (B部) の戸車調整ネジを回す。

戸車高さ調整ネジを引戸門扉が水平になるまで回して下さい。

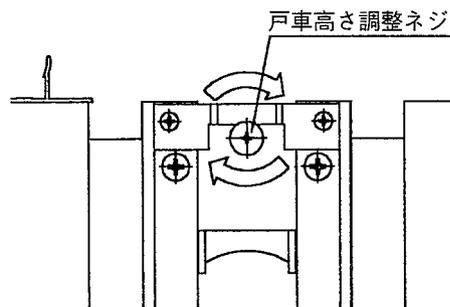
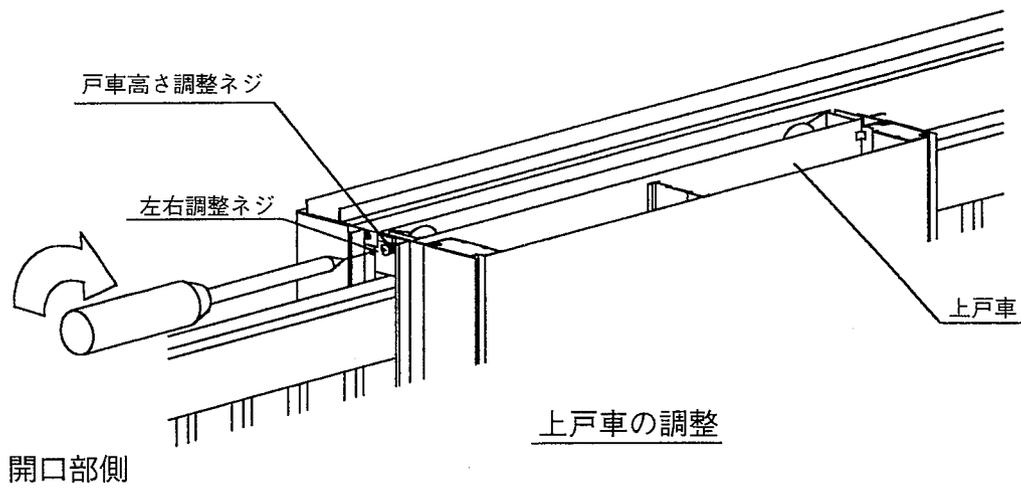
この時、A部の戸車が扉を押え付けていないか時々確認して下さい。

押え付けた状態で作業を続けると、戸車の故障の原因となります。

押え付けた状態の場合は、 の作業を再度行って下さい。



- 13 ㊦ 上戸車 (A部) の戸車高さ調整ネジを回す
戸車が、引戸門扉を押さえ付けるまで戸車高さ調整ビスを回して下さい。

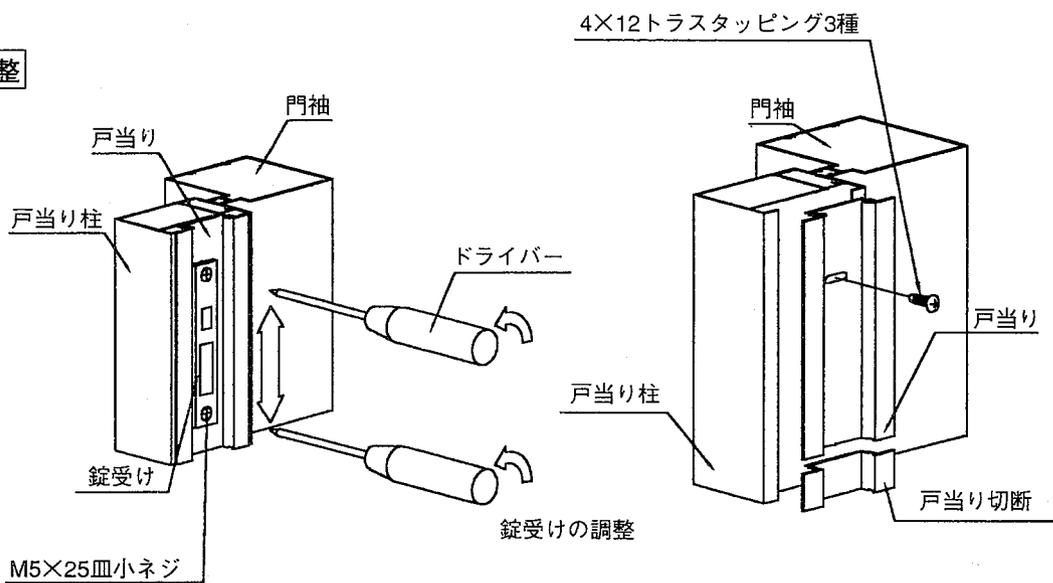


14 戸当りの調整をして下さい

鍵が掛りにくくなった時の注意事項

- ・引戸を完全に閉めていますか。
閉まっていないと鍵は掛かりません。
- ・引戸門扉が上下左右正しい位置に納まっていますか。
納まっていない時は、手引き書を参考に上下の調整・左右の調整を行って下さい。

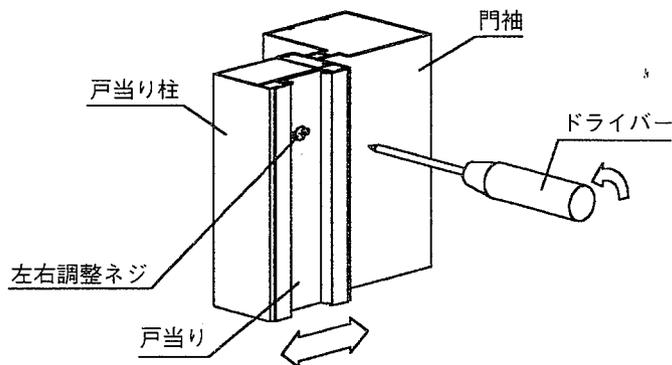
上下の調整



錠受けを固定しているM5×25皿小ネジをかるく緩めて調整・固定して下さい。(ビスははずさないようにして下さい。)
左右の調整は、戸当りで調整して下さい。

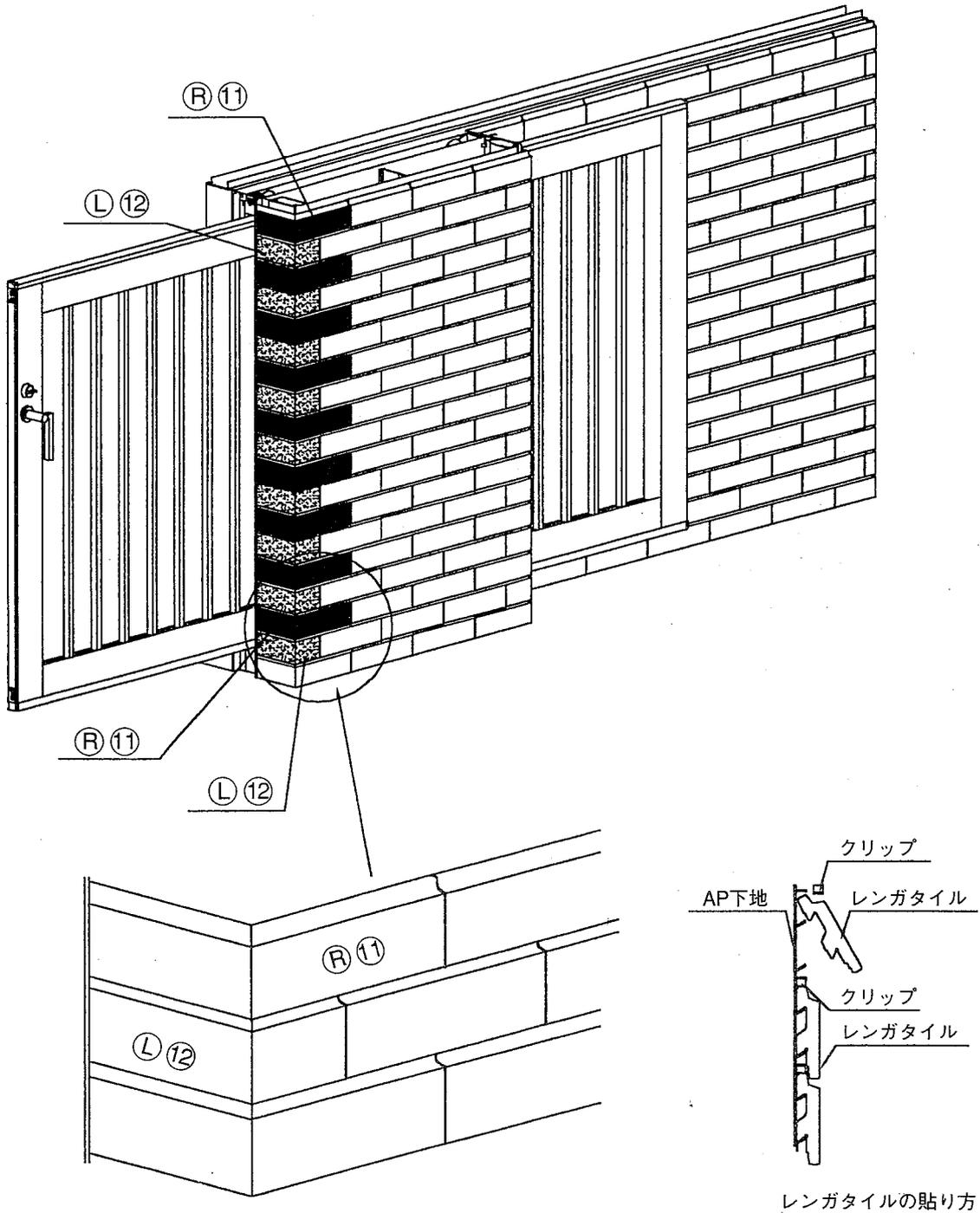
上下の調整 (戸車で調整しきれない場合)
戸当り上又は下を切断し、新たに $\phi 3.5$ で孔を開けて
4×12トラスタッピング3種で固定して下さい。

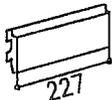
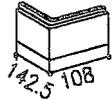
左右の調整



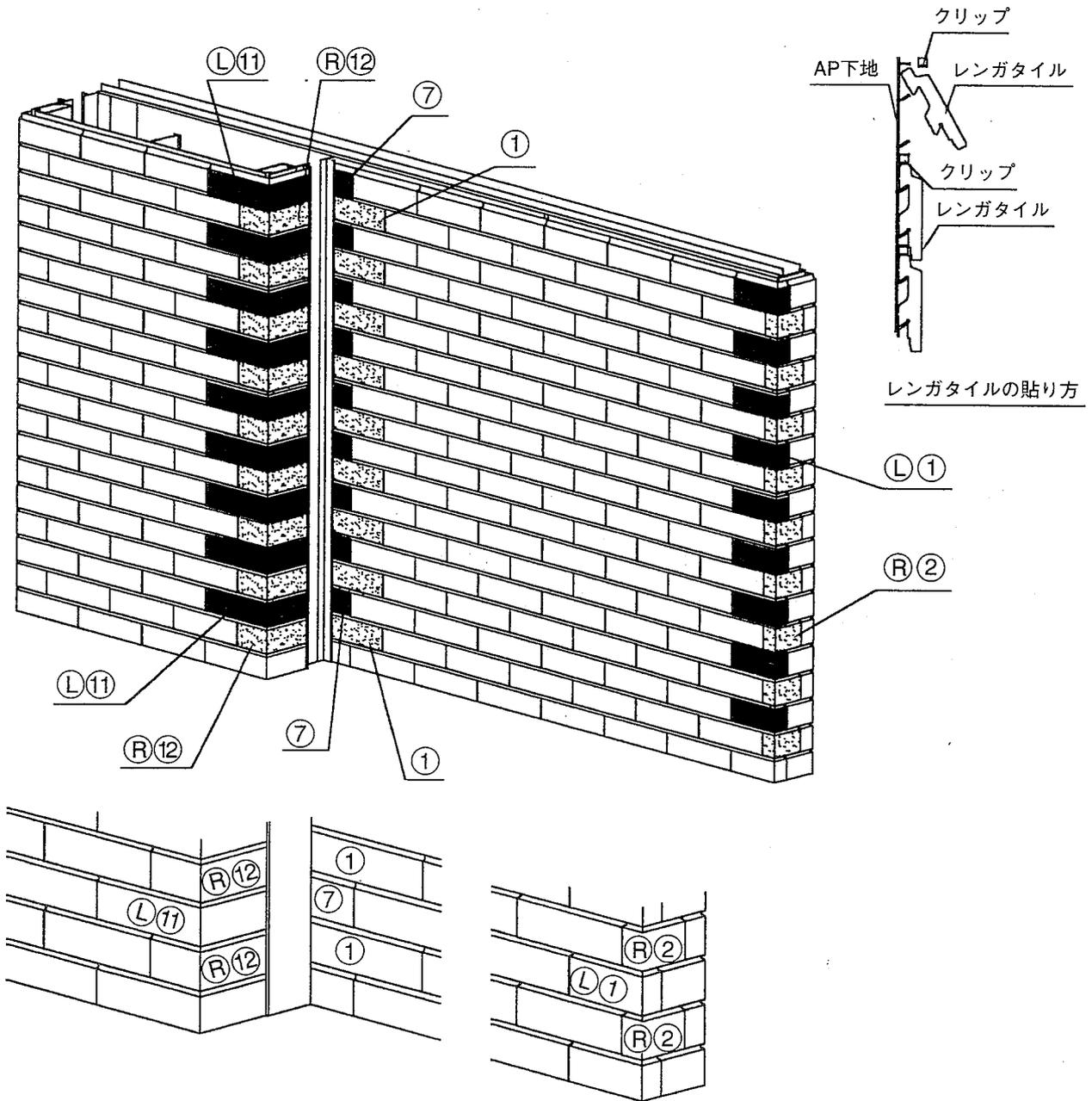
戸当りを固定している4×12トラスタッピング3種を緩めて調整し固定して下さい。

15-1 彩ライン「ノンレール引戸」にレンガタイルを取付けて下さい（柱ユニット内部側）
 スタンプ記号を確認しながらレンガタイルを取付けて下さい。
 本図は左引戸タイプを示します
 レンガタイル取付の際はAP下地材のコーナー等に注意して作業をして下さい



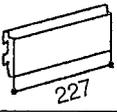
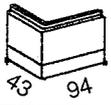
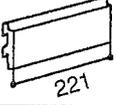
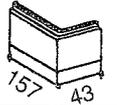
製品名称	姿 図	スタンプ記号	製品名称	姿 図	スタンプ記号
レンガ二丁平 20枚		ナシ	レンガ柱 ユニット部用A		(R) 11
			レンガ柱 ユニット部用B		(L) 12

15-1 スタンプ記号を確認しながらレンガタイルを取付けて下さい。(柱ユニット内部側)
レンガタイル取付の際AP下地材のコーナー等に注意して作業をして下さい

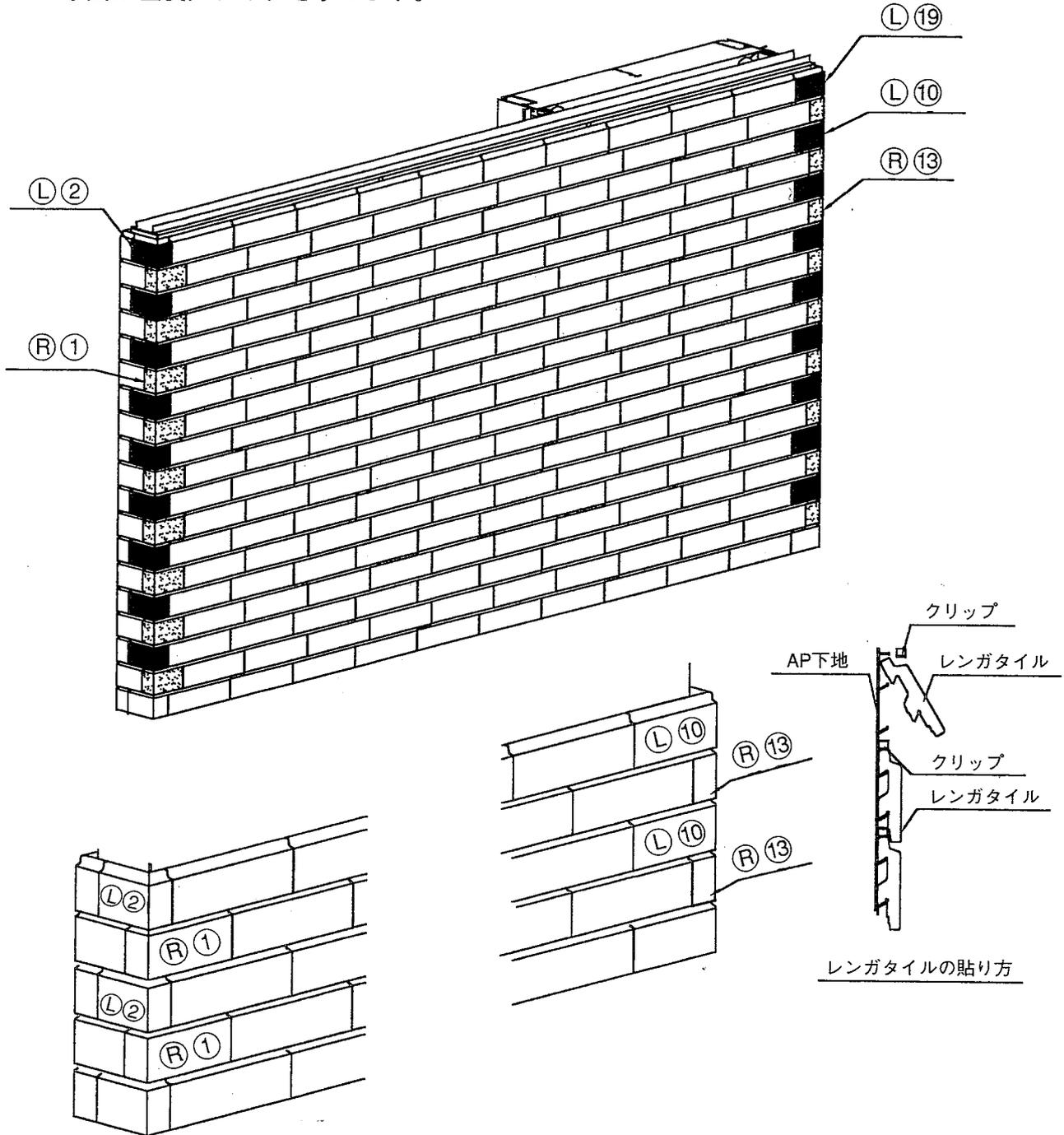


クリップ取付け図

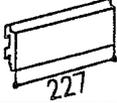
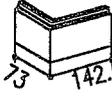
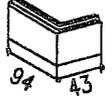
クリップ取付け図

製品名称	姿 図	スタンプ記号	製品名称	姿 図	スタンプ記号
レンガ二丁平 20枚		ナシ	レンガ曲げB 10枚右曲		Ⓡ ②
レンガB型 二丁平		①	レンガ柱 ユニット部用A		Ⓛ ①
		⑦	レンガ柱 ユニット部用B		Ⓡ ⑫
レンガ曲げA 10枚左曲		Ⓛ ①			

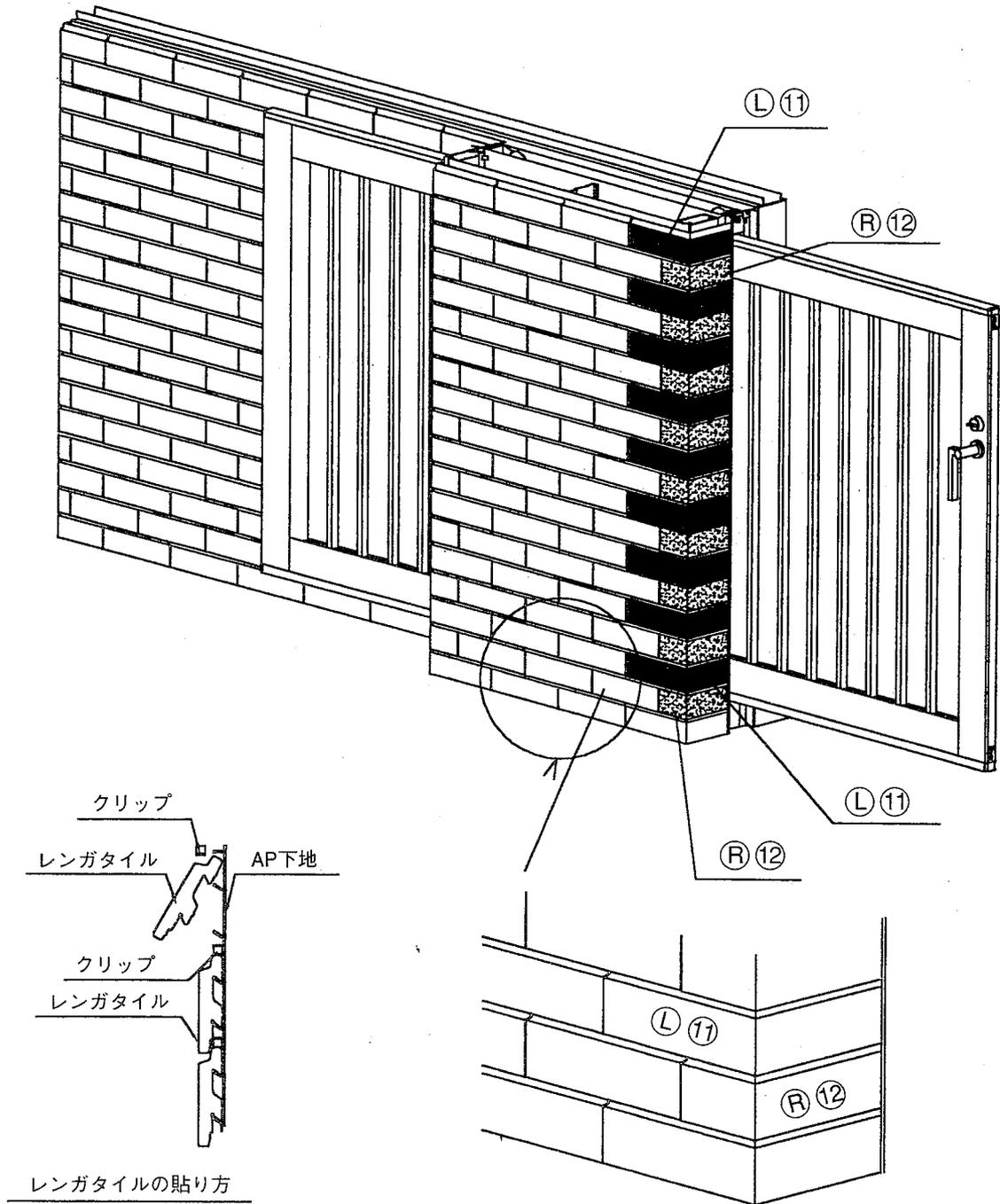
15-3 スタンプ記号を確認しながらレンガタイルを取付けて下さい。(柱ユニット外部側)
 本図は左引戸タイプを示します。

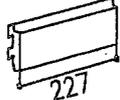


レンガタイル取付の際AP下地材のコーナー等に注意して作業をして下さい

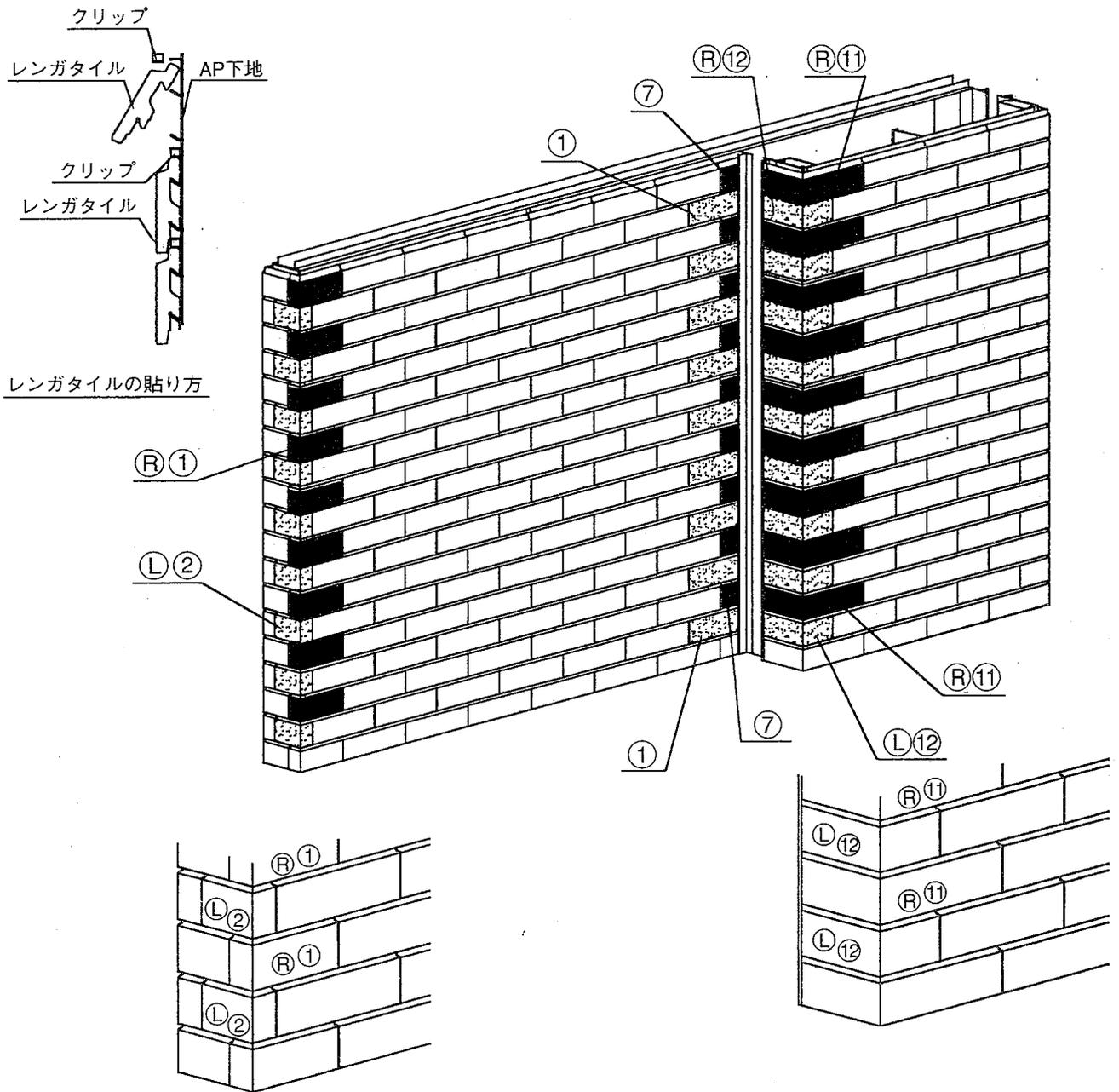
製品名称	姿 図	スタンプ記号	製品名称	姿 図	スタンプ記号
レンガ二丁平 20枚		ナシ	レンガB型 L勝手		L 10
レンガ曲げA 10枚右曲		R 1			R 13
レンガ曲げB 10枚左曲		L 2			L 19

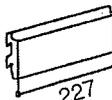
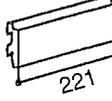
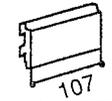
15-2 彩ライン「ノンレール引戸」にレンガタイルを取付けて下さい（柱ユニット内部側）
 スタンプ記号を確認しながらレンガタイルを取付けて下さい。
 本図は右引戸タイプを示します。
 レンガタイル取付の際AP地下材のコーナー等に注意して作業をして下さい



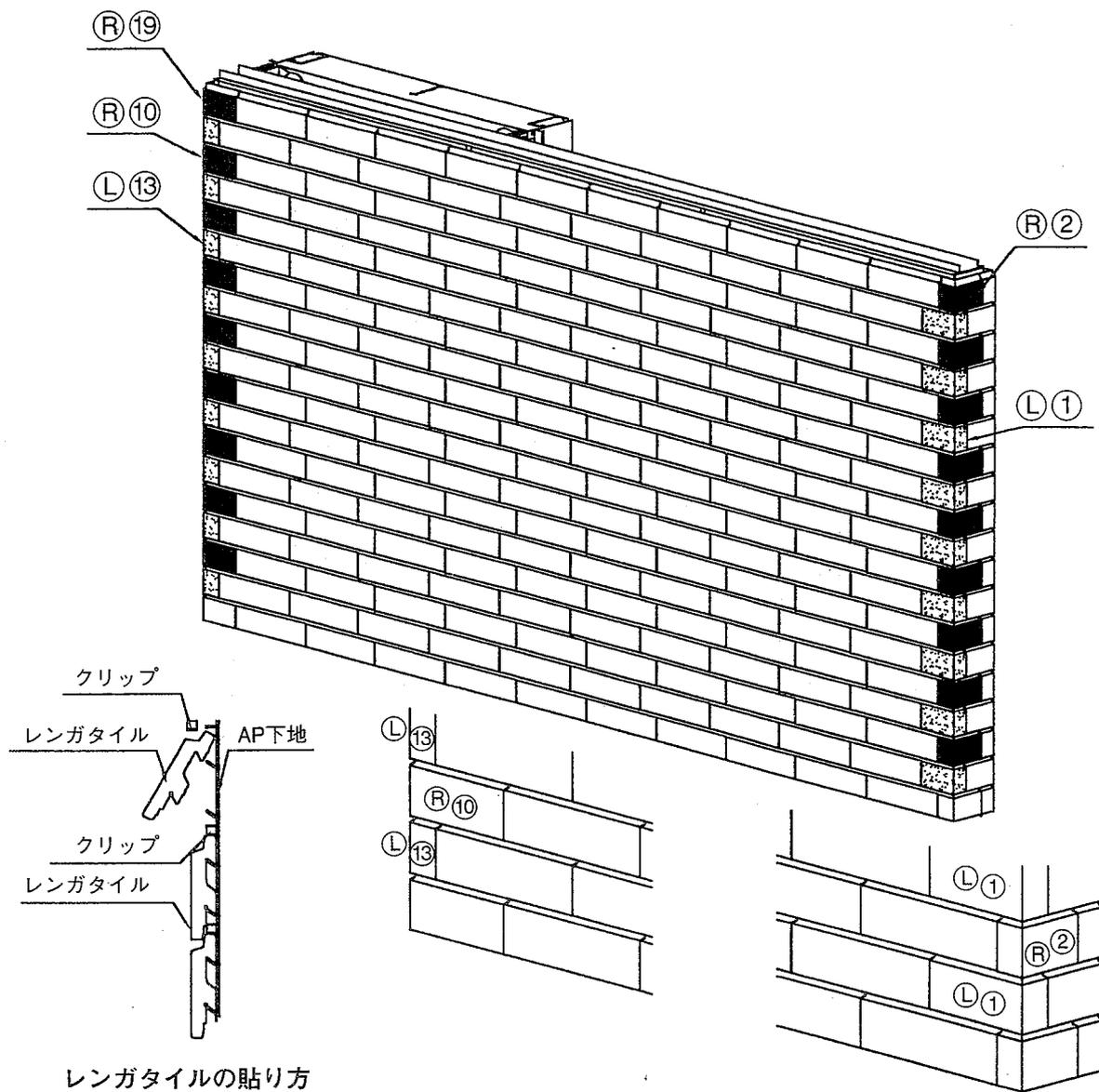
製品名称	姿 図	スタンプ記号	製品名称	姿 図	スタンプ記号
レンガ二丁平 20枚		ナシ	レンガ柱 ユニット部用A		L 11
			レンガ柱 ユニット部用B		R 12

15-2 スタンプ記号を確認しながらレンガタイルを取付けて下さい。(柱ユニット内部側)
 レンガタイル取付の際AP下地材のコーナー等に注意して作業をして下さい
 本図は右引戸タイプを示します。

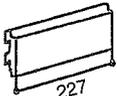
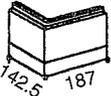
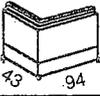


製品名称	姿 図	スタンプ記号	製品名称	姿 図	スタンプ記号
レンガ二丁平 20枚		ナシ	レンガ曲げB 10枚左曲		L②
レンガB型 二丁平		①	レンガ柱 ユニット部用A		R①⑭
		⑦	レンガ柱 ユニット部用B		L⑫
レンガ曲げA 10枚右曲		R①			

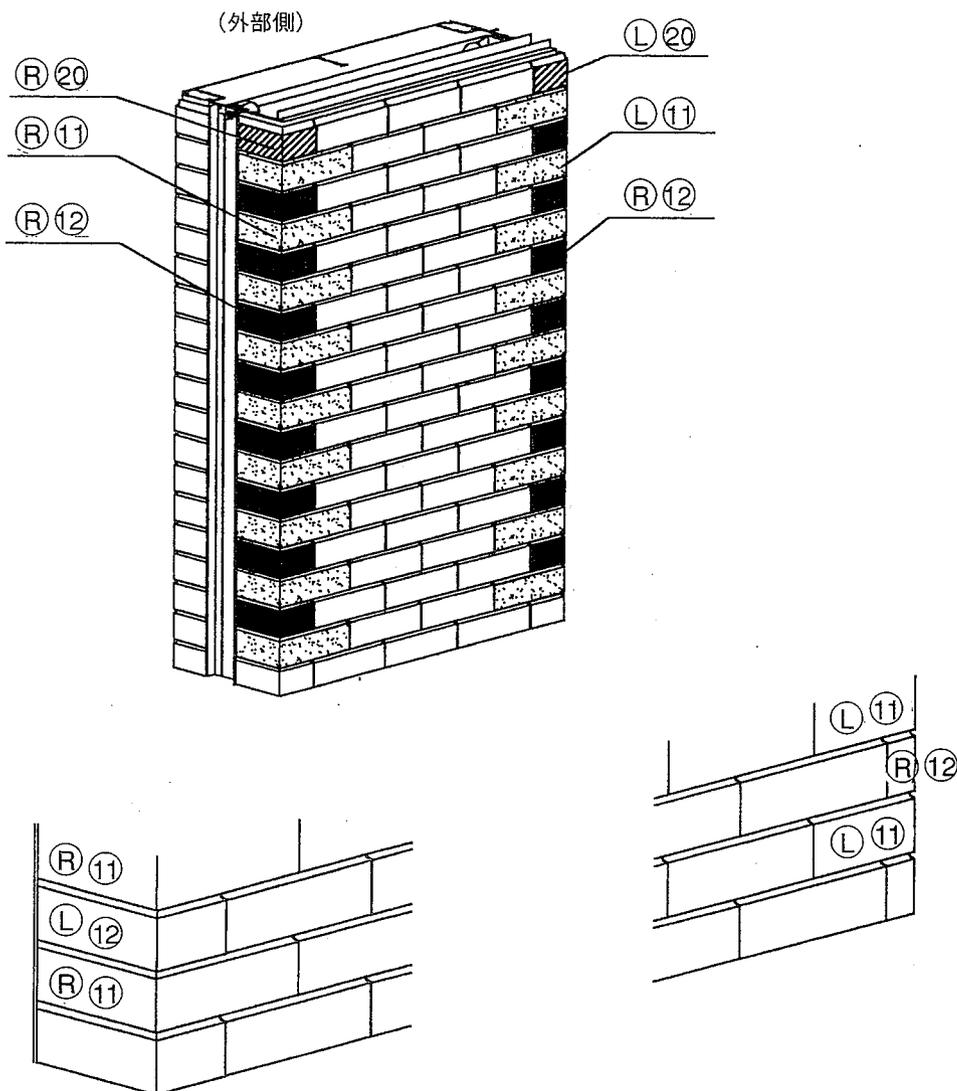
15-2 スタンプ記号を確認しながらレンガタイルを取付けて下さい。(柱ユニット外側部)
 本図は右引戸タイプを示します。

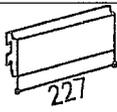
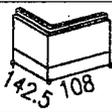
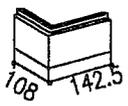
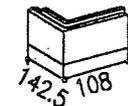


レンガタイルの貼り方

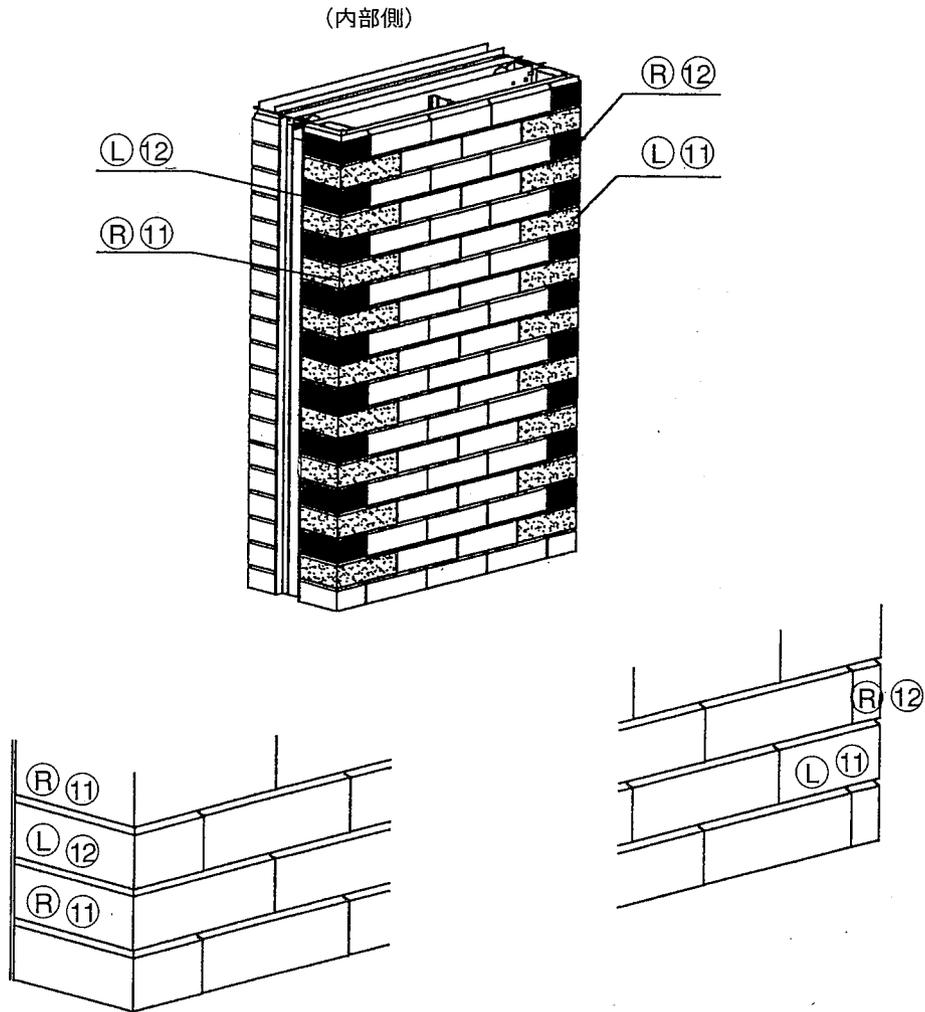
製品名称	姿図	スタンプ記号	製品名称	姿図	スタンプ記号
レンガ二丁平 20枚		ナシ	レンガB型 R勝手		Ⓡ ⑩
レンガ曲げA 10枚左曲		Ⓛ ①			Ⓛ ⑬
レンガ曲げB 10枚右曲		Ⓡ ②			Ⓡ ⑱

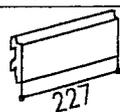
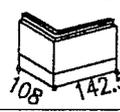
15-3 彩ライン「ノンレール引戸」にレンガタイルの取付けをして下さい（柱ユニット外部側）
 スタンプ記号を確認しながらレンガタイルを取付けて下さい。
 A型は、左右引戸タイプ共下図の様に張り付けて下さい。



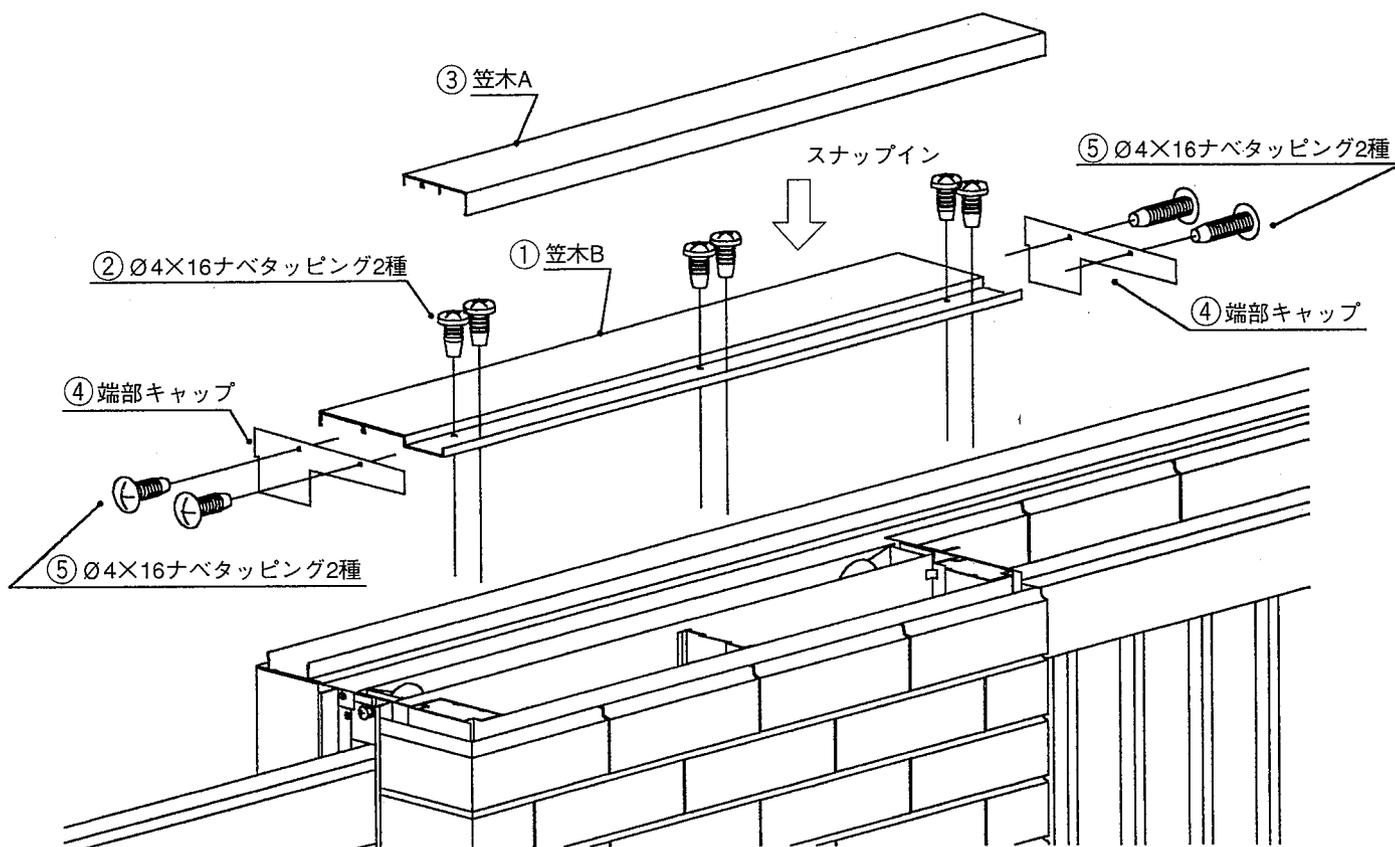
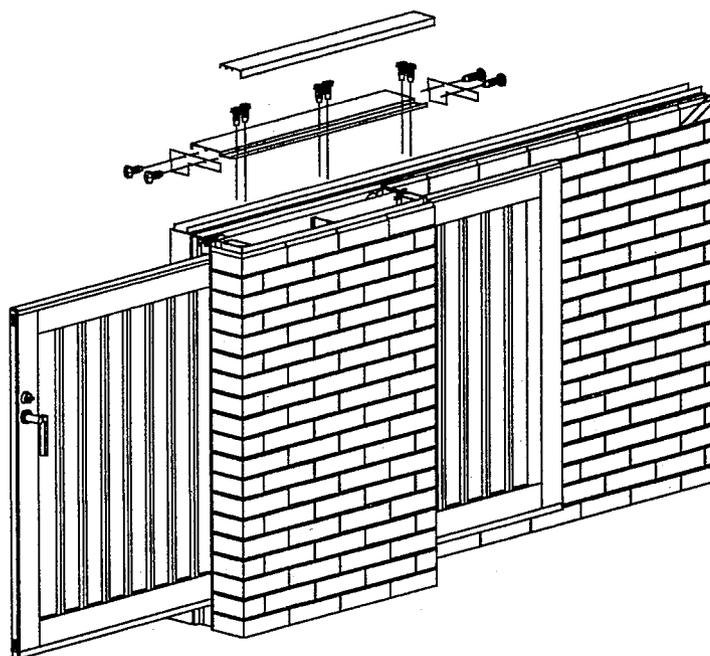
製品名称	姿 図	スタンプ記号	製品名称	姿 図	スタンプ記号
レンガニ丁平 20枚		ナシ	レンガ柱 ユニット部用B		L 12
レンガ柱 ユニット部用A		L 11	レンガA型用 セット		R 12
		R 11	レンガA型用 セット		R 20
					L 20

15-3 彩ライン「ノンレール引戸」にレンガタイルの取付けをして下さい（柱ユニット内部側）
 スタンプ記号を確認しながらレンガタイルを取付けて下さい。
 A型は、左右引戸タイプ共下図の様に張り付けて下さい。



製品名称	姿 図	スタンプ記号	製品名称	姿 図	スタンプ記号
レンガ二丁平 20枚		ナシ	レンガ柱 ユニット部用B		(L) 12
レンガ柱 ユニット部用A		(L) 11	レンガA型用 セット		(R) 12
		(R) 11			

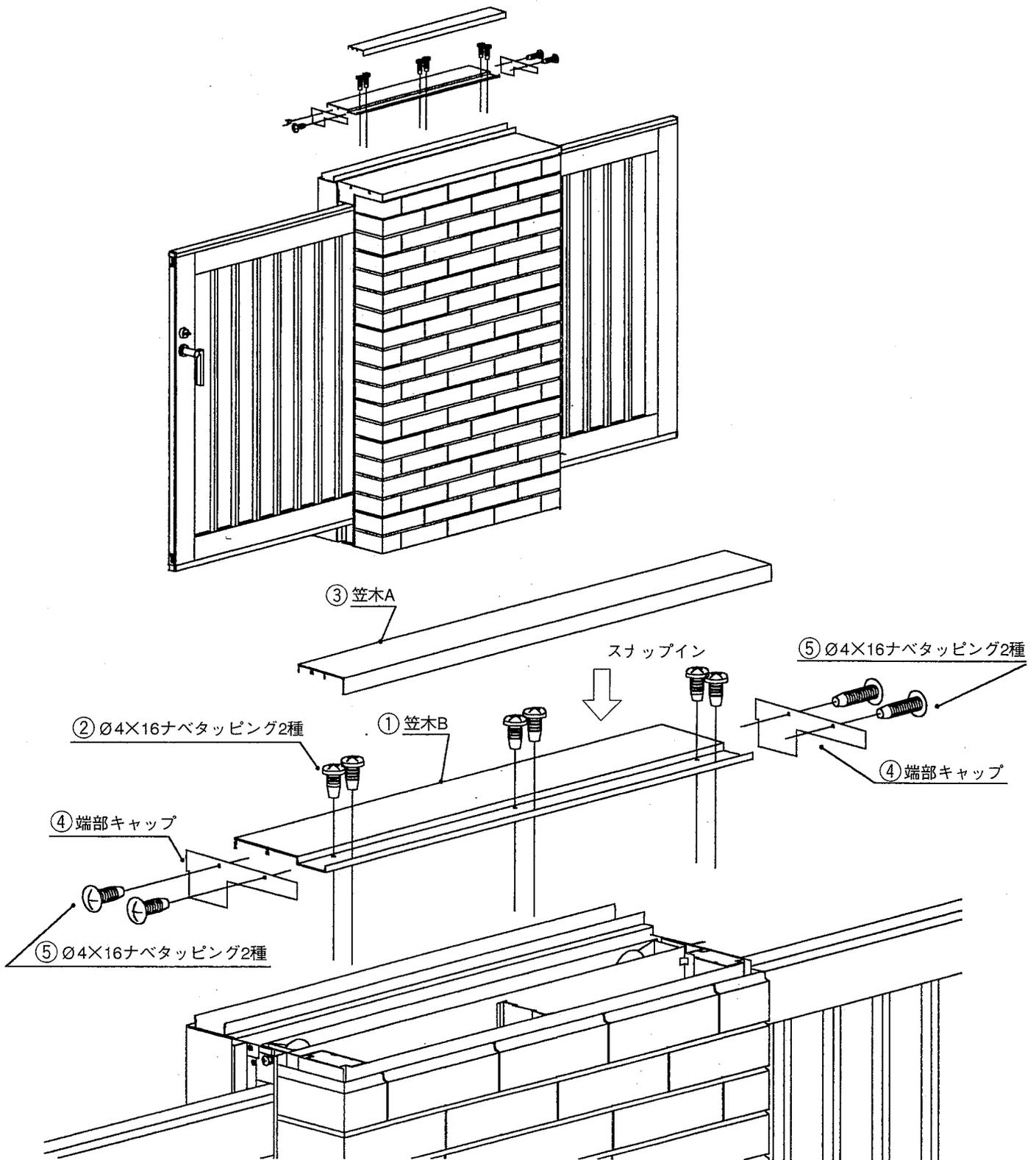
16-1 石目調笠木 柱ユニット用（内部側）を取付けて下さい
 取付けの前に建付け調整が終わりましたか確認して下さい



作業手順

- 1 ① 笠木Bを② $\phi 4 \times 16$ ナベタッピング 2種で取付けて下さい
- 2 ③の笠木Aを①の笠木Bにはめ込んで下さい（スナップイン）
- 3 ④の端部キャップを⑤の $\phi 4 \times 16$ ナベタッピングビスで取付けて下さい

16-2 石目調笠木 柱ユニット用（内部側）を取付けて下さい
 取付けの前に建付け調整が完了しましたか確認して下さい
 本図はA型引戸タイプを示します

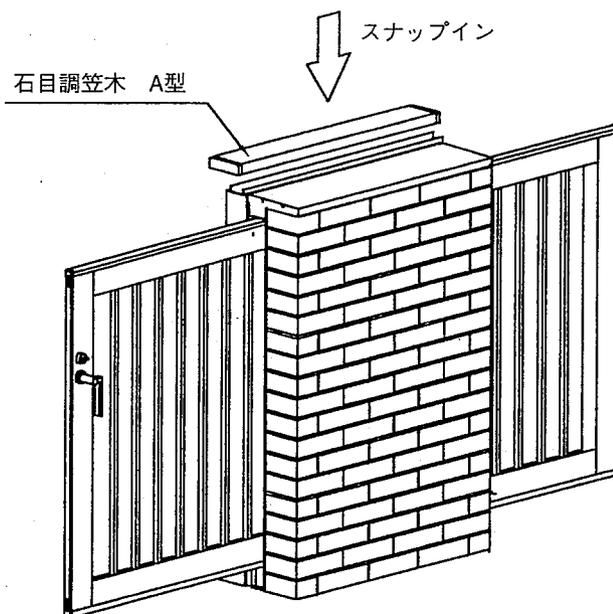


作業手順

- ① ①笠木Bを②Ø4×16ナベタッピング2種で取付けて下さい
- ② ③の笠木Aを①の笠木Bにははめ込んで下さい（スナップイン）
- ③ ④の端部キャップを⑤のØ4×16ナベタッピングビスで取付けて下さい

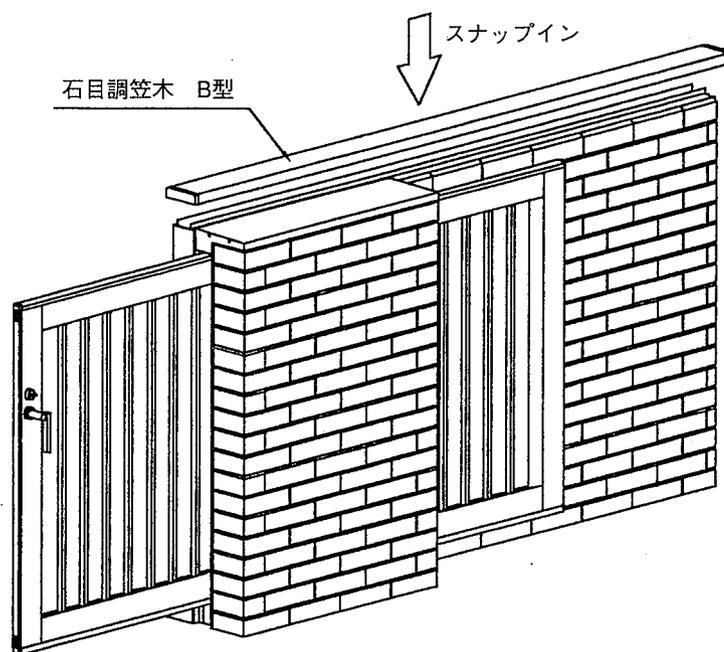
17-1 石目調笠木 A型用 を取付けて下さい

本図はA型タイプ左引戸タイプです右引戸タイプも同様です

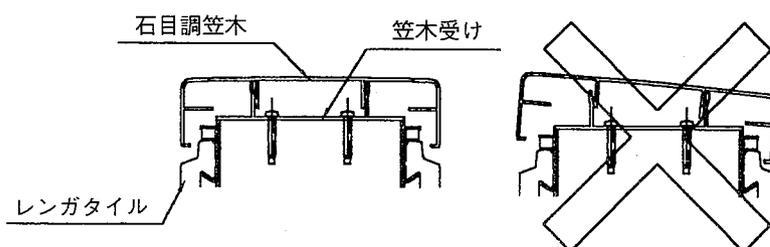


17-2 石目調笠木 B型用 を取付けて下さい

本図はB型タイプ左引戸タイプです右引戸タイプも同様です

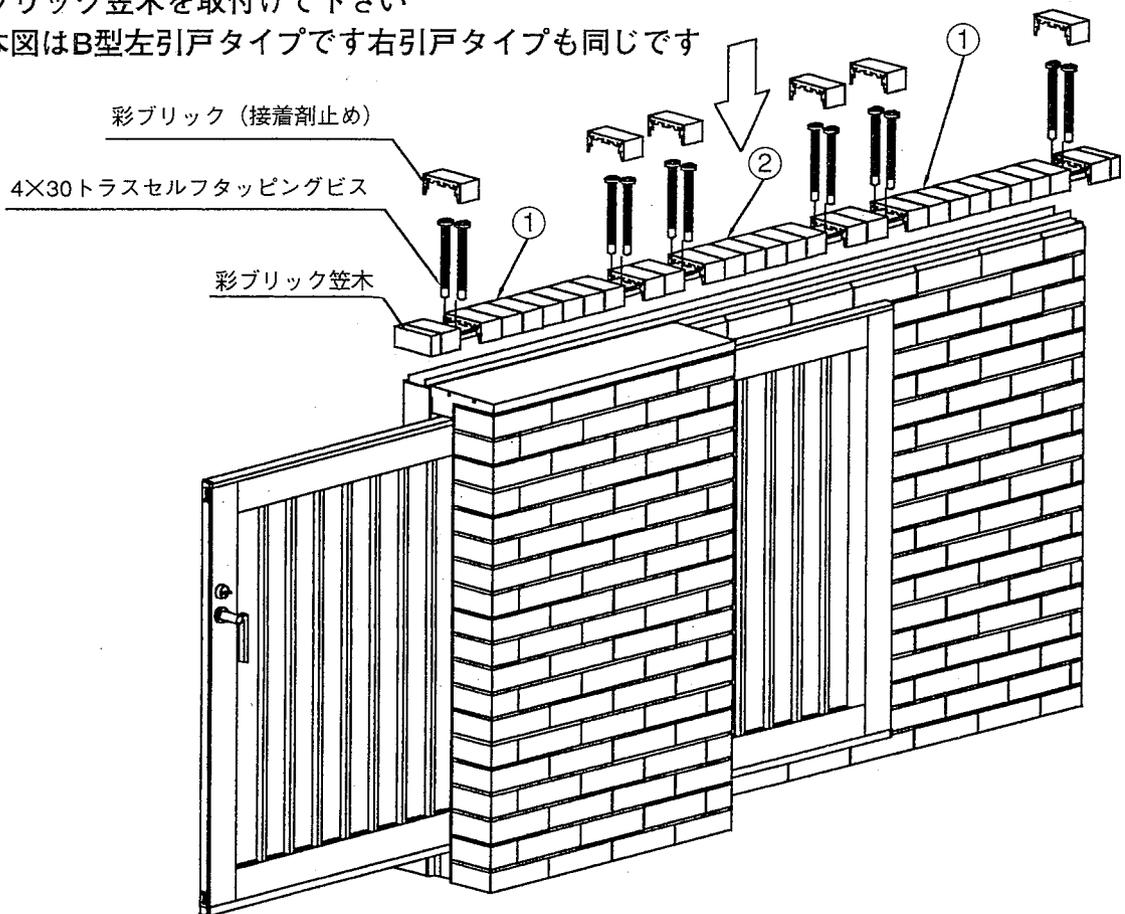


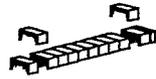
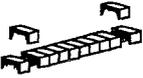
石目調笠木を完全に嵌め込んで下さい。

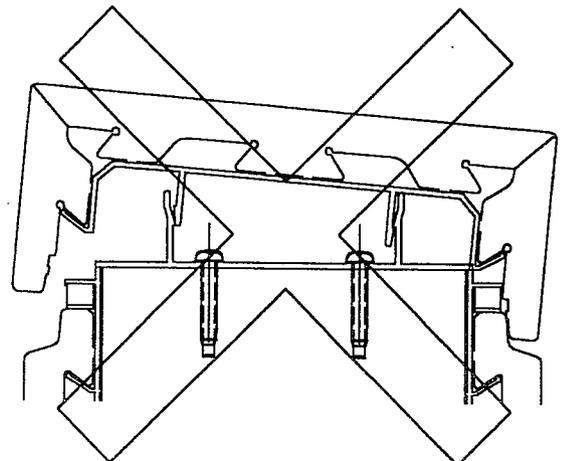
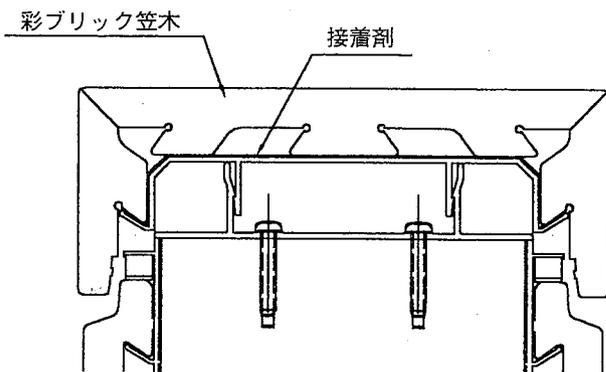


18-1 彩ブリック笠木を取付けて下さい

●本図はB型左引戸タイプです右引戸タイプも同じです



図番	製品名称	名称	略図	数量
1	彩ブリック笠木 B型端部	B型端部用		2
2	彩ブリック笠木 B型中間部	B型中間部用		1
		彩ブリック笠木 取付ビス 4×30トラスセルフタッピングビス		12

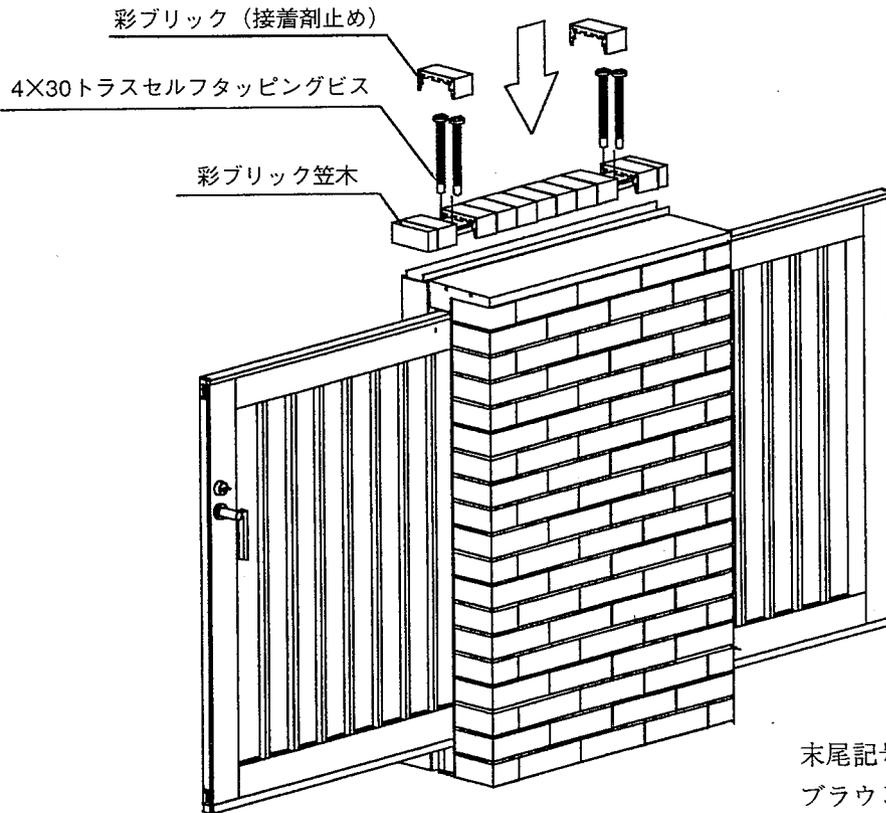


①彩ブリック笠木を4×30トラスセルフタッピングビスで取付けて下さい。

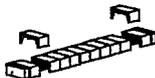
②彩ブリックに接着剤を付けて完全に嵌め込んで下さい。

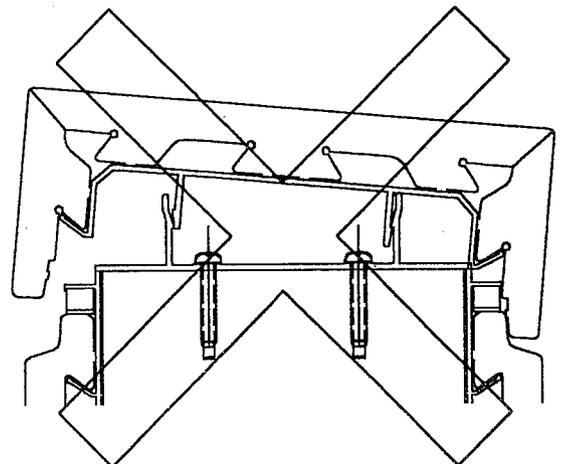
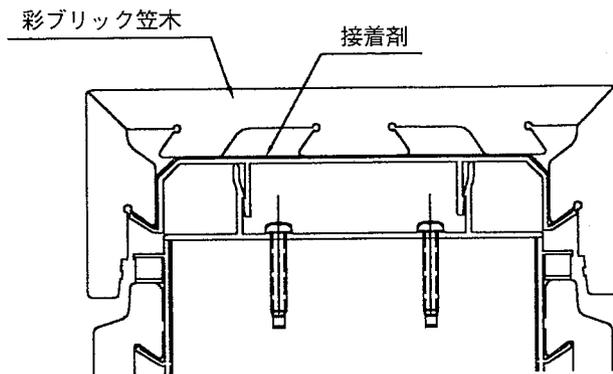
18-2 彩ブリック笠木を取付けて下さい

●本図はA型タイプです



末尾記号の○は下記の通り
 ブラウン2=B
 グレイッシュアイボリー=G レッド2=R

図番	製品名称	名称	略図	数量
1	彩ブリック笠木 A型	A型用		1
		彩ブリック笠木 取付ビス 4X30トラスセルフタッピングビス		4



- ①彩ブリック笠木を4×30トラスセルフタッピングビスで取付けて下さい。
- ②彩ブリックに接着剤を付けて完全に嵌め込んで下さい。